

平成31事業年度に係る業務の実績に関する報告書  
(資料編)

令和2年6月  
長崎県公立大学法人

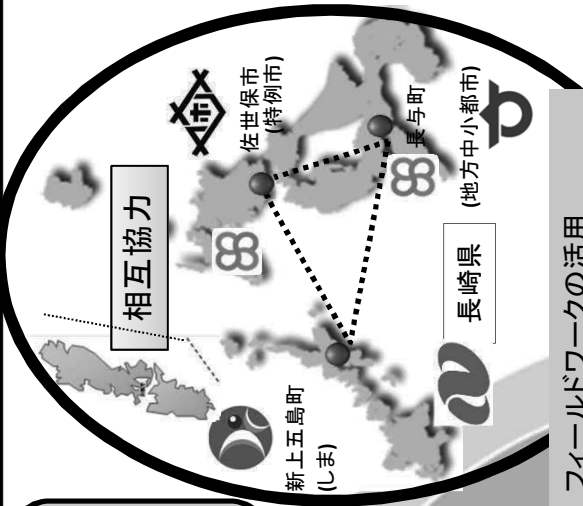
## (資料編) 目次

No	頁	内容	中期計画No.		
1	1	しまなびプログラム	1		
2	9	実践的な教育プログラム	1		
3	12	学部、研究科の学位授与方針、教育課程編成・実施方針	2	5	
4	20	進級要件・卒業要件	3		
5	22	資格取得等に係る高い目標	3		
6	25	大学院パンフレット	4		
7	33	ルーブリック	5		
8	39	FD研修会実施状況	5		
9	42	「長崎県立大学やるばいプロジェクト」実施状況	6		
10	43	就職状況等	7		
11	49	県内就職状況	8		
12	50	交流協定校一覧、留学生の受入・派遣状況	9		
13	52	入学志願者及び入学者数	10		
14	54	高校生向け講座(一日大学生)	10		
15	56	学長裁量教育研究実績一覧	11	24	
16	59	研究論文数及び学会発表数	12		
17	60	公開講座・学術講演会	15	16	
18	64	教員の年齢・性別構成	22		
-	65	用語解説	/		

※ 資料については既存の資料より抜粋し、活用しています。

長崎のしまに学ぶ — つながる とき・ひと・もの —

長崎県の多くの「しま」や地域においては、急激な人口減少や少子高齢化の進行により、地域コミュニティの低下、基幹産業の不振、伝統・文化の衰退など、日本において数年前に生じるであろう問題にいち早く直面しており、課題の解決が急務である。長崎県立大学では、「しま」を佐世保校、シーボルト校（長与町）に次ぐ第3のキャンパスとして位置づけ、「しま」での実践的な体験学習を全学的に導入する。そして、グローバルな視野をもち、かつ地域課題に主体的に取り組むことができるグローバル人材育成のため、学長のリーダーシップのもとに地域を志向した教育改革や、地域における教育拠点の中心を担うための学部学科再編に全学的に取り組む。また、大学が「しま」に学んだ成果は、地域における人材育成や産業振興等を通じて地域に還すとともに、地域と大学が連携して、地域の宝（しま）を再生・創造する。



**しまの地理**  
しまの交通・物流  
しまの歴史  
しまの医療・福祉



- 人材育成**
- 地域を担うボランティアリーダー育成
  - 外国語による観光ガイド育成
  - 女性人材の育成
- 健康増進**
- 生活習慣病、寝たきりの予防
  - 食育活動の取組支援
  - 安全安心出産と子育て支援
- 産業の振興**
- 地域資源を活用した機能性食品開発
  - 流通・物流の効率化
- 伝統文化の継承**
- 「長崎を学ぶ」講座の実施
  - キリスト教関連遺産保全の取組支援

- フィードバックの活用**
- 「しま」でのフィードバックの必修化  
課題解決能力の育成
  - 「しま」をフィールドに地域が抱える課題を体験し、解決策を検討  
就業力・社会人基礎力の養成
  - 「しま」をフィールドに就業力・社会人基礎力、リーダーシップを養成  
カリキュラム改革
  - 「しま」関連科目の増

- 地域では**
- ・ 教職員・学生が、全員地域に向くことにより、交流人口が拡大し活性化する。
  - ・ 大学が地域を「つなげる」役割を果たすとともに、とき（伝統・文化）を理解し、ひと（住民・学生）、もの（特産品等）の動きを活性化させ、地域課題の解決を図る。
  - ・ 広域的な視点で諸課題の解決を図るとともに、成功した取組事例は県内の他地域に普及する。

- 地域間の人と物の交流**
- 教員・学生のフィードバックを通じた人の交流
  - 「しま」の実習を通じた人の交流
  - 学生による旅行商品の開発
  - モーターツアー・共同物産展等による3市町間の交流
- ICTの利活用**
- 遠隔講義システム活用
  - モバイルラーニングシステム導入

- 大学では**
- ・ 学長のトップマネジメントを強化し、大学の重要課題に的確かつ機動的に対応するために、重要課題毎のプロジェクトチームを編成し、大学改革を推進する。また、研究については、学長の主導のもとしまや長崎の地域課題を重点化する。
  - ・ 全学的にグローバル人材育成を主眼とした地域志向のカリキュラム改革を行い、学部学科再編に取り組む。授業方法にアクティブラーニングを取り入れ、主体的な学習を促すとともに、モバイルラーニングを導入し学習を支援する。
  - ・ フィールドワーク拠点として地域にサテライトキャンパスを設置し、出前講義、eラーニングにより生涯教育・地域協働の人材育成の拠点、子育てや高齢者の居場所としても活用する。

- 取組事例を県内に普及**
- 大学では**

## 「しまなび」プログラムとは

「しまなび」プログラムとは、本県の「しま」（対馬、杵岐、五島、新上五島、小値賀、宇久、的山大島）を佐世保校、シーボルト校に次ぐ第3のキャンパスとして位置づけ、学生が主体的・実践的に学ぶPBL学習法（project based learning 課題解決型学習法）を導入するとともに、「しま」での体験を通じて、グローバルな視点を持つとともに、ローカルな視点で地域課題に取り組むことができる人材の育成を目的とした教育プログラムです。

本プログラムは全学必修科目で、講義科目「長崎のしまに学ぶ」（4～8月）と演習科目「しまのフィールドワーク（4泊5日）」（8～9月）の2つの科目から構成され、「しま」の課題等に対し、学生自身が解決策や対応方法を考えることで、課題発見力、分析力、積極性、協調性などの社会人として求められる能力を涵養します。

### しまなびプログラム 年間スケジュール概要



### 「長崎のしまに学ぶ」スケジュール概要



### 「しまのフィールドワーク」スケジュール概要



## 学生発表

すべて ▾

すべて ▾

2019年度 ▾

検索

67件

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2019	五島1	産業（観光）	家族で楽しめる五島ツアーの提案「未知の五島の魅力」	平成30年度の観光客の推移を調べてみると、前年度と比べ、全体的に増加傾向にあったが夏季だけ0.4%減少していた。そこで夏に出来る家族向けのツアーを考えることによって、夏季の観光客数減少という五島市の弱点克服に繋がる。	若者に焦点を当てたしまなびでの取り組みは今までにあったが、子供連れの家族に焦点を当てたものはなかったため、今回は子供と家族に重きを置いたことが相違点。
2019	五島2	郷土（郷土）（観光）	郷土料理を求めて～Go to 五島!～	郷土料理をアピールできる。また、島外の人に限らず、島内の人にも魅力を伝えることで、しまのアピールポイントを知ってもらい、島民が自発的に島の魅力を広めることを促進する。	島民にも魅力を伝えることを考えている点。島内と島外の視点を盛り込んでいる点。
2019	五島3	環境（環境）	GOTO ～ジオ体験においてよ～	大学生視点の意見を取り入れたマップ作成とイベントの提案によって、島民や観光客（特に若い世代の観光客）にジオに興味を持ってもらう。また、マップを様々な場所においていただくことで、五島の新しい観光地となるジオサイトを広めることができる。	[相違点] ジオマップの作成に取り組んでいる点、その理由は、これまで島なびで五島に行った班の中にジオパークについて発表している班がいなかったため。また、最終的な作成物としてモデルコースではなくマップを発表している班もいなかったため。[新規性] スタンプラリー形式のイベントを提案する点。その理由は、五島のHPの活動報告にスタンプラリー形式のイベントを行ったものはなかったため。
2019	五島4	産業（観光）（情報）	五島うまかもんマップ	島内にある店を訪れる客数が増加することで、売り上げも増加し、大局的に見るとしま全体の利益につながる。	・デジタル化されたマップではなく、紙媒体のマップ作製であること。・食事処だけに焦点を当てた、グルメマップであること。
2019	五島1.1	産業（観光）（イベント）	日本のハワイ！？ Shima bride ～五島で結婚式しませんか～	PR活動のターゲットは、主に結婚式を挙げるだろうと予想される20～30代とし、プラスとして新郎新婦の親族や友人などの参列者にもしまの魅力が伝えられると考える。その魅力は、古くからある教会や海などといった美しい景色と五島でしか味わえない郷土料理である。結婚式をする中で、五島の名所で写真撮影をしたり、披露宴中に提供される料理を郷土料理にすることでしまの魅力がPRされる。また五島は定住率が82.3%と高くなっているため、1回しまを訪れるきっかけを提供することで、移住者の増加が期待できると考える。	相違点としては、主なターゲット層を20～30代としながらも、プラスで親族などといった子供からおじいちゃんおばあちゃんまで広い年齢層にPRできる点、結婚式に限られた季節ではなくいつでも挙げられるので、一時的な効果ではなく持続的な効果が期待できる点があげられる。新規性としては、PR活動に結婚式を取り入れるという発想があげられる。
2019	五島1.2	人口（定住）	Let's immigrate+ ～GODHAND つかめ移住者～	島にとっての希望である、島のことを島の内外にもっと知ってもらうこと、移住者増加促進に繋がるという思いを持つと考える。移住者同士のつながりを強め、より良い移住生活が出来るようにする。移住者の方々が共同で発信し、外部の人が複数の移住者の方々の情報を取得でき、なおかつコンタクトを取れるSNSシステムの構築により、移住の促進を促す。ただし、事前に移住者の方々と連絡をとる上で、別のアイデアや要望があれば、対応する柔軟性を持つことで、よりニーズに即したものとする。	移住者の横のつながり強化を意識し、共同で情報発信出来るような手段の構築を試みていること。移住者と移住希望者のコネクト作りの観点を取り入れているところ。調査だけでなく、作業の側面を取り入れているところ。
2019	五島1.3	産業（観光）	GO TO 五島	観光客の増加や知名度、消費額の増加に繋がる	若者中心のものが多かったが、家族層を中心にするという点。

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2019	五島1.4	産業（観光）（情報）	Go to Goto! ~五島でご当地go go go~	島の良いところなどを多くアピールし、PR動画を多くの人に見てもらうことによって、観光客のさらなる増加が見込める。	自分が観光しているようなPR動画を作るという点。
2019	五島1.5	人口（定住）	五島の活性化大作戦 ~広めよう！五島のいいところ 広げよう！五島の輪~	少子化が進んでいる五島にとって若者が訪れることはとても良い傾向となるから。また、島の人に孤島の魅力の再確認してもらおう。	年齢層が高めな人ではなく、若い世代の人たちを呼び込める
2019	五島1.6	産業（全般）	五島に付加価値を！ ~みんなで作ろう付加価値を~	サイトの作成、SNS発信等をし、若者をターゲットとした上で、興味を持ってもらうための工夫をする。そこで、さらなる観光客増加を見込み、五島に付加価値を与える。また、その場所を訪れたことのない人、五島に行ったことのない人への宣伝にもなる。	相違点は、SNSの活用は今までと似ているが、観光客にもSNSで情報発信をしてもらうという点である。新規性は、観光客に情報発信をしてもらうだけでなく、島の人の協力をいただいて、観光客が訪れたお店の紹介をSNS発信すると何かもらえるという特典形式にし、満足度の向上に繋げる。SNSを活用する人が多い若者をターゲットにすることで、観光客が増えるとともに、若い夫婦、家族連れ等が島への移住を考え、島の人口、若者増加、活性化にもつながると考えられる。
2019	五島1.7	環境（観光）	GOTO! ジオ散策	五島市がジオパーク認定を目指しているため、その促進をすること。	以前は観光などの産業についてが多かったため、ジオパークに触れている班がなかった。
2019	五島1.8	産業（観光）（イベント）	五島半端ないって	修学旅行のプランを計画することで、五島の魅力をダイレクトに伝えることができ、さらに子供向けの観光に焦点を当てることで新たな観光客層の誘致にもつながる。	これまでの相違点としてはまず、修学旅行プランにおいて、今まで大人目線で楽しむ観光が多かったため、子供でも楽しめるような新たな観光プランを考えるという点。
2019	対馬1	産業（観光）	TSU☆SHI☆MAP! ~しまのよかとこ見てみんね!!~	島の魅力を学生目線で発信してもらい、観光や移住のきっかけを作る。+第一次産業の人口増加と観光客の増加を図る。	これまでの相違点は、実際に自分達が宿泊する民泊の経営者や、対馬の方と連携してツーリズムを企画すること、そして体験した魅力をSNSやマップを作って発信すること。+第一次産業と民泊の魅力で観光客及び就業人口の増加を狙う。
2019	対馬2	産業（観光）	対馬ってどんなところ? ~360度で見る魅力~	多くの人に見てもらい、対馬の魅力を知ってもらうことで観光客の向上に繋げる。	日本人だけでなく、海外の人からの視点を考える。日本語以外に英語、中国語を使用する。360度カメラ（VR）を利用する。
2019	対馬1.1	教育（教育）	Tsusimanabi	教育環境の魅力を発信し、よりよくしていくことは、若者の島外流出を抑えるだけでなく、島外の学生を島に呼び込むことにも繋がるため、島を活性化させる。	今までにあまり取り組まれていない研究テーマであること。より長期的に島にとどまってもらえるという点。
2019	対馬1.2	人口（定住）	対馬に帰りたいか!	アドバイスの中にあっただよように、最近のベンチャー企業など新たな企業への理解を島民に伝えることで、Uターンしやすくなり、住民が増えるという点。	相違点について、観光目的の一時的な人口を増加させるのではなく、就職目的で永住者を増やすことである。新規点について、親子に焦点を当てている点とUターンするための交流コミュニティを構築する点にある。
2019	対馬1.3	産業（観光）	対馬サランヘヨ~マナー冊子を添えて~	まず、景観が保たれることが第1にあり、「韓国お断り」をだしている店にインタビューし、そのマナーを韓国人に提示することで、対馬の方達も韓国人を受け入れやすく、韓国人も行きやすい環境になると思う。また、韓国人の方のマナーを改善してもらうことで、日本人観光客も対馬に行きやすくなる。	対馬観光商工課によると、交通マナーに関するパンフレットしか対馬では発行されていないので、ゴミ問題と飲食店についてのマナーパンフレットは新規性があると考えられる。また、ポスターなどでなくパンフレットのような冊子を直接渡すことでマナーを徹底できると思う。
2019	対馬1.4	教育（人口）	夏! 合宿! 対馬! 「夏だからこそ対馬でしょ」~夏集中合宿の企画を提案~	島に合宿である程度の規模の団体を対馬に呼ぶことができ、民泊を利用することによって対馬に住む人から直接対馬についての魅力を聞くことができ、島のアピールとなる。	ただの合宿ではなく、対馬を楽しんでもらいながら合宿してもらうことでこれまでの観光客とは違う層を対馬に呼び込める点
2019	対馬1.5	産業（観光）（外国人）	Welcome to 행복つしま ~民泊ってなあに?~	来てくれる外国人観光客と島民を結びつけ、島の魅力を伝えていく	民泊してくれる外国人観光客に着目している点

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2019	対馬 1.6	郷土（郷土）	対馬が叫びたがってるんだ!!! DANDAN 心惹かれてく せんDANご作戦!	せんだんご等の郷土料理を島外に伝えることができる。	今までせんだんごについて詳しい解説が取り扱い店舗にないため、作成したい。外国人観光客にも対応できるように、英語・韓国語などの表記も入れる。
2019	壱岐 1	産業（農業）（漁業）	壱岐のイキイキ、ウキウキ体験!!!!	島の子供たちに小学生の頃から島の第一次産業について知ってもらい興味を持ってもらうことで、島に愛着を持ってもらい、島の外に出ていくことを防ぐことにつながり、第一次産業の後継者の確保にもつながる。	これまでのしまなびプログラムはどちらかというと島外の人に対する活動が多かったのに対し、私たちの班は島内の人たちへ向けて活動するという点。
2019	壱岐 2	産業（観光）（情報）	みんなで作ろう、壱岐をイキイキさせるデジタルマップ	いろんな人に参加してもらうことによって意外な人気スポットなど、島民が発見できなかった新たな魅力や改善していける点を発見することができる。	島の内外のひとが参加できる
2019	壱岐 3	産業（観光）	大学生は壱岐でイキイキ in Summer Vacation!	観光客が急激に減る9月に大学生を呼び込むことでしまの活性化につなげる。	学生を対象にし、観光にかかる料金を抑えたコースを考えるという点がこれまでの相違点である。また、車ではなく、バスを利用する点が新規性である。
2019	壱岐 4	産業（観光）（情報）	魅力たくさん！また「いき」たい壱岐島！	観光客が来るようになることで、経済効果をもたらす。また、若年層の観光客やリピーターが増えることで壱岐への移住者の増加も見込まれ、人口減少や高齢化に歯止めをかけることも見込まれる。	SNSでの拡散ではなく、既存しているSNS（Instagram）上の情報を集約し、旅行者がプランを立てやすいような経路や場所を載せたマップを作成し、壱岐内やサイトなどに載せてもらう。また、壱岐に住む人が一方的に壱岐のことを発信するのではなく、観光客に観光客の目線から壱岐のいい所を発信して貰えるような取り組みを考えていく。
2019	壱岐 1.1	産業（観光）（イベント）	体験して、暮らし、楽しむ。だって	旅行会社とは異なり、島の暮らしなどを体験するアクティビティをツアーに取り入れることで島の人も壱岐の魅力を再確認することができ、リピーターと移住希望者を少しでも増やし、そして壱岐の活性化や人口不足の問題を改善につながることで。	ツアーにレンタル自転車を取り入れる点、島の人の暮らしを体験する点
2019	壱岐 1.2	産業（観光）（イベント）	生きている間に壱岐に行きたい。～みんながイキイキ歩行ラリー！～	島の人口増加、観光客の増加により島の活性化をはかる。	歩行ラリー！！というイベントを通じた知名度の向上。
2019	壱岐 1.3	人口（定住）	壱岐に生きる～次、来るときは壱岐市民～	市役所が移住に関する認知度を把握することができ、次回に政策を行う際に活用することができる。	観光客の増加に力を入れるだけでなく、定住者増加に着目した点。
2019	壱岐 1.4	産業（観光）（イベント）	粋な壱岐 ウォーキング&クッキング	大学生向けに人材育成の歩行ラリーを行うことで協調性や主体性といった人材育成を行うことができます。また、同時に島の魅力を島外の方に向けて伝えることができ壱岐観光の促進に繋がると思いました。	新規性として、歩行ラリーをしつつチェックポイントを設けて同じ写真を撮ってもらい、正解したなら壱岐の食材を与え、それを集めてゴール地点へ向かいます。ゴール地点では、撮った写真に応じて食材を与えその場で料理してもらいます。
2019	壱岐 1.5	人口（定住）	壱岐の3H探検隊～happy.発見・発信～	島民へ幸せ度を聞くことで、島の長所がわかり、それを発信することにより観光客や移住者の増加が少しでも見込めるのではないかと考えた。もし、短所がでてきたらそれを改善する策を投じることができると考えた。島民も魅力を知ること、島外への移住を防げる。	ホームページを加えることで、今までと違う幅広い年齢層をターゲットにできるから。また、SNSと違って継続性に長けている。
2019	壱岐 1.6	産業（観光）（情報）	目指せ壱岐の観光伝道師	若者の観光客の増加や、幅広い年齢層に壱岐の魅力を伝えつつ、特産品の維持もできる。観光においては、島民の人が実際に使っている場所を調査することで、壱岐についてより深く知ることができるツアーを作成し、リピーターを増やすことができる。	観光は、今までは特定の状況や世代に合わせたプランが多かったが、島民の人の声を生かしたプランや、郷土料理を生かしたプランを考えて、リーフレットを作成することにも新規性がある

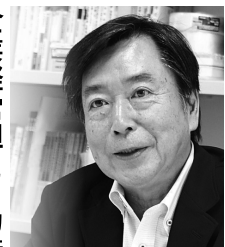
年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2019	壱岐1.7	産業（観光）（特産品）	イカしたい!!壱岐の海の幸!!	島の要望として離島という環境から水産物が豊かなイメージを持たれることが多いが、そのイメージで留まり具体的な品物が伝わっていない場合があるというものがあつた。それを踏まえ、壱岐の水産分野のイメージを調査することで、島内島外の人が島の現状を知ることができる。	これまでの先輩は観光分野に力を入れている傾向があり、産業の水産分野に取り組んでいる例が少なかったから。
2019	壱岐1.8	産業（全般）	生き活きとした産業そして発展を	壱岐からの要望として一次産業の担い手確保についてというものがあつたため、自分たちの活動を通して担い手不足解消と一次産業の活性化につなげる	先輩が今まで観光についてやっていたので、それとは違った視点で行いたい。過去の発表で似ていることをしているグループがあつたが現状を報告しただけで、解決策は提案してなかったから、新しいことを自分たちが提案していきたい。
2019	新上五島1	人口（定住）	☆Let's find new life in SHIN-KAMIGOTO☆	・人口が増える▶経済力が上がる・担い手不足の解消	対象を若者ではなく、脱サラや田舎暮らしがしたい世帯持ちを対象とする。また、移住だけでなく観光を取り入れて、よりいい移住が良いものだとしてPRする。
2019	新上五島2	産業（観光）	イッツア新上五島ワールド	観光客にしまの独自の自然を知ってもらう 観光客増加 しまの活性化	自然、観光、体験の3つを組み合わせた点 雨の日の観光マップを作る点
2019	新上五島3	情報（情報）（観光）	新上クエスト	若者の好きなゲームという要素を取り入れることで、今まで以上に若者にしまへ訪れてもらい、しまへ活気を与えてもらう。	RPG仕立てでマップを作成するという点で、男女問わず、また若い人を中心としてしまを訪れてもらう。
2019	新上五島1.1	環境（観光）	ふりかえればきれいな島	島や海が綺麗になる。綺麗になることで観光客も増える。	島の人のゴミ箱の設置場所マップを作成するという点。観光客にゴミを捨ててもらおうという点。
2019	新上五島1.2	産業（観光）（イベント）	星見るばい!全員消灯!! ~街の灯りを笑顔の灯りに~	後の観光資源に繋げていく。街の定例行事として継続できる。	高校生や島民全員に協力を求め、島全体を巻き込むという点。
2019	新上五島1.3	産業（漁業）	モバモバモバ新上藻場五島	海の浄化だけでなく観光目的として美しい藻場を再生することで、現在成長中の観光産業に着目し、新上五島の産業について理解を深めることで島の魅力を発見・発信し、観光事業のさらなる成長や、Iターン・Uターンする人の増加に繋がる。	新規性として、藻場の再生（漁業）と観光業を結びつけること
2019	新上五島1.4	産業（観光）	New 神 Go Island ~1年中楽しめる島~	秋冬にも力をいれることで一年を通して継続的に観光客を呼び込み、提案するツアーの参加費や各体験サービスの料金または特産品の購入などを通して、島民または観光客の消費向上につなげる。それが観光業の活性化にも繋がる。	夏の島を楽しむことが多くあげられている中、私達は冬季でも上五島を楽しめるようにしようとする点。上五島に潜在している観光地や特産品を見つけ出し観光資源を増やそうとする点。いかにして上五島での消費を増やすかを考えている点。
2019	新上五島1.5	産業（観光）	#映え映え#愛され#新上五島	現在、新上五島の観光客は中高年の方や家族連れが多い傾向にあるため、その他の世代や外国人の方などにも興味を持ってもらうことにより、さらなる観光客増加を望める。	旅行プランの対象者を明確にすること。また、従来のプランで多かった日帰り旅行や一泊二日から二泊三日に増やすことで延泊による島内経済の活性化を図ること。
2019	新上五島1.6	産業（観光）	新上五島「夏」発見パンフレットの作成	一般的なパンフレットに載っている観光地だけでなく、実際に訪れてとて面白いなと思った風景や料理など、上五島の様々な魅力をPRできる	●夏に限定したパンフレットを作成し、広く新上五島をPRする ●旅行をする時に現実性のあるプランを計画できる
2019	新上五島1.7	産業（観光）（外国人）	Let's go New Kamigoto!!!! ~空気も美味しい!魚も美味し	大学生の視点でしまを見ることで、しまの新たな可能性を生み出すことにつながると共に改善策を提示することで、しまがずっと存続していくような状況を生み出すことができる。	新規性 外国人に向けた意識、生活調査相違点 インターネットのサイトだけでなく、アプリを活用する。
2019	新上五島1.8	産業（観光）	魅力あふれる新上五島をジャンル別に!	・五島列島の観光客数が横ばいなので、新しい取り組みを行い観光客数を増やすことによって経済が発展する・地元のことには地元の人を知っている、島の人の考えと自分たちの意見を合わせることで新たな魅力が生まれる	島の人の意見に偏らず、島を訪れた人（観光客、移住者）に話を聞くことにより新たな魅力を見つけるため



年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2019	宇久1	産業(観光)(情報)	宇久の魅力を全国へ「宇久の★ドキドキ★ ☆ワクワク☆ ♪ウクウク♪に会いに行こ	知名度を上げることで、観光客の増加につながる。	今まで役場の方や先輩方が行っていた知名度を上げる方法とは異なる方法を実施する点。
2019	宇久2	産業(観光)(イベント)	Let's enjoy taking pictures in UKU	宇久島を知ってもらい、来てみたいと思ってもらうため。不特定多数の人に向けたSNSを用いてフォトコンテストを開催する。	島民自らの手で島の魅力を発信することができる
2019	宇久3	産業(観光)(イベント)	すごらくUKIUKIサイクリングマップ～長崎の宇久から世界の宇久へ～	島外の人に興味をもってもらい観光客が増えて島が活性化する。	サイクリングマップをつくるだけでなく、食事処や自販機、QRコードでマップに載せきれない情報を載せたりして、初めて島に来る人が楽しめるマップをつくる。
2019	宇久4	情報(観光)	ウクウクチャンネル～きつとあなたもやりたくなる宇久新体験～	動画を通じて、宇久の知名度を向上させて、観光客を増やす。宇久の活性化へ繋げる。	写真ではなく、動画のコンテンツを使って情報を拡散する点。
2019	宇久1.1	情報(観光)	宇久島観光で魅力UP!～インフルエンサーの活用～	知名度を上げることで、島の活性化に繋がる。	自分たちで発信をするのではなく、インフルエンサーの活用。
2019	宇久1.2	産業(観光)(情報)	気持ちウキウキ! 宇久島観光ツアー!!!	若者層が魅力的だ、満足できるといった観光ツアーの造成を行い、若者の力を使って知名度アップを狙う。さらに島の経済活性化を狙う。	若者向けの楽しめるプランを考える。
2019	宇久1.3	郷土(観光)	ギョッギョギョッ宇久井～ぶかぶかうかぶ宇久井～	島の産業を体験してもらうことで宇久の魅力を感じてもらい産業の活性化知名度アップが見込める。	産業を体験して自分で井を作るイベントがなかったこと。
2019	宇久1.4	郷土(観光)	カルタで宇久島へ行ったらカ～♪	宇久島の方たちに、地元の良さを再確認してもらい人口減少を防ぐ。さらに、島外の人々に宇久島の魅力を発信し、島への転入人口を増やすこと。	かるたとSNSを通して、継続的な活動をする点。
2019	小値賀1	教育(教育)	ちかちかおぢかーごんかな! いつでも待ってるけん! -	小値賀教育の強みを活かしたアピールの仕方、子供を持つ世帯の移住を促し人口増加を目指す	・教育×移住というアプローチ・ターゲットを子供を持つ世帯として、移住の取り組みを行うこと
2019	小値賀2	環境(環境)	小値賀◇ピカピカ◇ゴミとアート大作戦	・島がきれいになる・イベントなどの取り組みによって知名度が上がったり観光客が増加する・ゴミ問題の解消・島の人も一致団結する	・今まではゴミ拾いに焦点を当てていたが、私たちは拾った後に焦点を置いている。
2019	小値賀1.1	産業(観光)(情報)	オジカに集まれ in2019 ~Do you know ojika~	○観光における集客数の増大 ○魅力の創造 ○島の人々の観光地住民としての意識と地元への自信を持つようになる ○商業活動の活性化	新規性 SNSを利用して複数の言語で発信可能である点。相違点 島でイベントを行い、島外の人にも参加してもらうことで小値賀の魅力に触れる機会が増え、ネットを利用することでグローバル化にも対応できる点。
2019	小値賀1.2	産業(特産品)	小値賀をまるごとおみやげに!	お土産開発をすることで、小値賀の新しい魅力が増え、知名度上がり、産業の活性化にもつながる。また、商品による収入が増えると経済が回り、働き手の数も増え、島外からの働き手も望むことができ人口増加も期待できる。	お土産の商品開発だけでなく、その商品のPR方法も考えているところ。地元のパン屋と連携して商品開発をするところ。
2019	小値賀1.3	産業(観光)	小値賀の住みやすさ半端ないって	移住者の増加、人口流出を防ぐ、雇用が増える、最低限の施設で移住者が住みやすくなる、中高年の方の雇用が増える	地産地消をテーマにした企画
2019	小値賀1.4	医療・福祉(福祉)	小値賀の福祉・環境の良さを発信 [住んでみよう、小値賀に]	小値賀の福祉を知ってもらうことで、小値賀に移住する若者が増えて人口問題を改善させる。	これまでの班の発表内容を見て、小値賀の福祉について触れている班があまりいないということで、福祉に着目したという点。
2019	小値賀1.5	産業(全般)	小値賀の魅力	若い世代を増やすことで島の産業を活性化させることができる 子育て世代が増え、人口増加に繋がる 移入人口の抑制	若者の就職先を増やすことで、人口移出入を抑制する 空き家の様々な活用方法を提案し、企業、観光客、島民に利用してもらう

年度	グループ	領域	テーマ	「しま」にとっての意味	これまでの相違点・新規性
2019	小値賀1.6	環境（環境）	～海のごみ箱で小値賀の海をきれいに～	海岸整備をすることで、海岸観光の強化・魅力向上にも繋がる。また、海岸清掃を島に住むみんなで行うことで世代間の交流の機会にもなり、若い人がこの島を守るという郷土愛を育むことができる。そうすることで、島の人口流失の数を減少させることに活用できるはずだ。	相違点：ただゴミを集めるだけではなく、そのゴミを活用したイベント開催やモノづくりができる環境の整備を提案、実施する点。ゴミを回収するゴミ箱を市販の物ではなく、手作りのゴミ箱を使用することで、愛着を持たせることができる点。新規性：捨てるだけのゴミ、ポイ捨てのゴミ、捨てられたゴミに着目した点。
2019	的山大島1	人口（後継者）	UO～SHIMA!! 漁業の金の卵発掘プロジェクト島～漁プロ～	後継者不足の解消 産業の衰退を防ぐ	観光面だけにこだわらず、後継者不足解消による地域振興を中心として考えた点。
2019	的山大島2	その他（幸福度）	高齢者の楽園 的山大島～高齢者が住みやすい島No.1を目指して～	<ul style="list-style-type: none"> <li>住みやすくなったことで半数(高齢者)が幸せに</li> <li>産業の発展や伝統文化の継承に繋がる</li> <li>老後に戻りたくなる→リターンに繋がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者でなく高齢者に視点を向けている点</li> </ul>
2019	的山大島1.1	産業（観光）（情報）	Let's go!大島!	若者が増えて、島が盛り上がる。	今までは島の状況を知るには写真などしかなかったが、1日密着動画などを撮って民泊のサイトや、できたらyoutubeなどにも動画をあげて移住してみたい人が島の日常生活を想像、分かりやすいようにする。
2019	的山大島1.2	人口（定住）	来てみんな、戻ってみんな大島!	島の人々が考える島の魅力を再確認し、移住してくるメリットを明確にする。これによって、住民の人々が考える住みやすさを実現できるように改善することで、島の環境が改善され、移住する人々にとっても大きな魅力となる。	アンケートやインタビューといった調査が中心であり、それをオリジナルの形にすること。
2019	的山大島1.3	人口（定住）	リターンラッシュ！大島の職業と利便性の開発	私たちの提案によって大島の人口が増加したら、伝統芸能が存続できたり現在の島民の方の生活の質が向上することにも繋がると考えた。	島民視点で提案策を考えることと、対象をUターン者に絞ったことが相違性だと思った。。
2019	的山大島1.4	産業（観光）	Let's go fishing in osima!	釣り客の数を増やし、釣り客を狙った宿泊を増やすことで、島に直接利益を出すこと	直接お金につながる取り組みを計画していること 釣り分野では初めてだと思うから
2019	的山大島1.5	人口（定住）	大島で働こう！「仕事も家庭もあつたかい島」	産業を活性化することによって、もともと島に住んでいる人々が島を出ていく可能性を減らし、以前はほとんどの割合が就職形態かUターンで占めていた若者を島へ呼び戻すことができるかもしれない。産業が活性化することで大島に移住したいと思うような人が出てくるかもしれない。	既存の産業を改善させていく。また、島民の方々に私たちの取り組みの内容が直接的に関連しているようにする。
2019	的山大島1.6	産業（全般）	みんなのハローワーク大島	島の人口を増やすこと。それによる島で働く人の増加、産業の発達を目標とすることで島の活性化へとつなげればと考えている。	相違点としては、これまでの活動としては島内の人に向けての活動が多かったことから島内の人ではなく、島外へ向けての活動ということ。新規性としてはサイトの開設することがこれまでの活動になかったため、サイトを開設することを新規性として考えている。

### 企業経営担える力養う



経営学科 学科長 鴻上 喜芳氏

九州国公立大学は唯一の経営学部で、豊富な講師陣をそろえています。学部学科再編の流れもあり、流通と会計の領域にも強く、卒業後に企業経営者としての必要な学びが充実しています。

その一つが実際の経営課題などに取り組む地域における経営実践と「地域と企業連携」です。

3年次の選択必修科目となっており、地元企業をはじめ、道の駅や商店街などが授業の課題について現場での実態や調査を行い、解決策の提案へつなげます。問題発見と課題解決の力が伸びます。

専門的な資格取得を推進・卒業生に定め、幅広い企業で活躍できる人材育成を目指しています。本業から学修・研究し、地産地消が明確な高校卒を対象にしたAO入試を実施する予定で、さらに高いレベルで課題研究に取り組めるように準備を進めています。

### グローバル人材を育成



国際経営学科 学科長 岩重 聡美氏

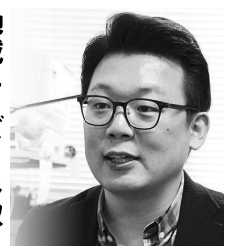
「グローバルに活躍したい」という学生の夢の実現に向けて、経営の知識とスキル、実践的な英語力の習得に力を入れています。

1年次には「フレイレン・セブ島の約3週間の語学研修」、3年次には必修科目「海外ビジネス入門」があり、その参加条件としてTOEIC®の目標スコア730点を設定しています。セブ島では勉強漬けの毎日ですが、研修終了などの学生への顔も笑顔に満ち溢れています。

世界の舞台で力を試す海外ビジネス研修はシンガポールやベトナム、タイの現地企業で実践を積み重ねます。実務をしながら異なる言語や文化、宗教などを理解し、多様な価値観を尊重し、国際的な経営感覚を身に付けることを目指しています。

この経験だけでなく、半生かけての学生の内定先を見て、夢の実現につながっているのではないかと感じています。

### 地域ニーズくみ取る力



公共政策学科 学科長 車 相龍氏

全国にも珍しい経済学部の政策関連学科です。地域の経済と産業の仕組みを理解することを意識した公共政策の学びを提供します。3年次に取り組む選択必修科目「公共政策実習」は、本学が独自のフィールドを創出し、その後の学びや進路に活かします。

また、もう一つの選択必修科目「公共政策実習」は、地域課題となっている事例を学生が見つけ、その解決に取り組むというものです。フィールドワークを重視し、時代の流れと地域のニーズに応えられる人材の育成を目標としています。

多様な学問の状況に即して新しい地域づくりに取り組む準備ができています。フィールドワークに付いた社会調査の知識や技術を駆使して社会課題を捉え、その解決策を提案し、実践的な教育を行っています。

### 地域経済へ理解深める



実践経済学科 学科長 烏丸 聡氏

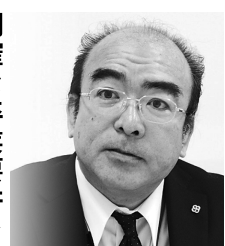
人口減少、若い世代の増加、農林水産業の6次産業化、長崎県内には多くの課題があります。長崎で解決できれば、国が抱える課題も解決できると考えています。

2年次には「地域と企業」のトピックをテーマに「ビジネス実践演習」と「地域企業」の講義を履修し、実践的な学びを行います。

3年次では「長崎白書実践演習」と「地域企業」の講義を履修し、実践的な学びを行います。

3年次では「長崎白書実践演習」と「地域企業」の講義を履修し、実践的な学びを行います。

### 明確な卒業要件を設定



学生支援部 部長 山田 譲二氏

本学の特徴は「問題解決型」の学びです。学生は必修の「シミュレーション」や「グループワーク」を通じて、地域の課題に気づき、その解決策を提案することに取り組んでいます。

さらに「海外ビジネス研修」「企業インターンシップ」といった長期にわたるインターンシップは、他大学にはない実践的な教育と自負しています。

また、学部に「TOEIC®や日本語検定」、情報処理技術者試験など進級や卒業に必要な条件を設け、社会で即戦力となるスキルを習得に努めます。

1年次からキャリアデザインの研修を組み合わせ、学生のキャリア教育も力を入れています。2018年度の就職率は99.2%となり、学生はキャリア教育も力を発揮しています。今後も教職員が情報共有し、学生の夢の実現を応援していきます。



学部学科再編から4年目を迎えて

# 地域目線とグローバルな視野を

### 活躍の場はグローバル

国際関係とメディア研究を二つの柱としてグローバルの面から社会について考えられる人材の育成を目指しています。

高い語学力を獲得するために進級と卒業判定に外部試験の成果を要件としています。学生は、英語あるいは中国語を選択し、語学科目から再学習の一部を免除し学習します。

2年次には英語圏や中国の大学などで語学研修を受けます。また、タイのタマサト大学やジャナリスム・マスコミュニケーション学部との交換留学では、本学科と共通する内容の教育が全て英語で行われています。

3年次には自治体や企業で長期間のインターンシップを行います。こうした教育を通して、学生は旅行・観光業、官公庁、メディア産業などを目標としています。ここで学び、自らの希望をかなえて活躍してくれることを願っています。

### 効果的な情報伝達学が

プログラミングや情報技術だけでなく、情報をどう伝えるか、効果的に伝える方法を学ぶのが学部の特色です。

情報システム、情報デザイン、情報コミュニケーション、データベース論や情報デザイン論、色彩学、グラフィックデザイン、サウンドデザインなどの幅広い専門分野の教育によるプログラミング演習、データベース論や情報デザイン論、色彩学、グラフィックデザイン、サウンドデザインなどの幅広い専門分野の教育によるプログラミング演習、データベース論や情報デザイン論、色彩学、グラフィックデザイン、サウンドデザインなどの幅広い専門分野の教育によるプログラミング演習...

### 即戦力の人材を育てる

コンピュータのセキュリティに関する人材を育成するコンピュータのセキュリティに関する人材を育成するコンピュータのセキュリティに関する人材を育成する...

長崎県立大学は2016年度に学部学科再編を行い、地域目線とグローバルな視野の双方から変革を進めてきました。本年度の4年生が1期生になります。「KEN'SUN」が地域から世界へ挑む長崎県立大学生をディプロマ・ポリシーとして掲げ、その実現のため「長崎とNagasaki」をテーマに提供しています。学科長らから特色ある学びや育てたい人材などについて話を聞きました。



国際社会学科 学科長 森田 均氏



情報システム学科 学科長 有田 大作氏



情報セキュリティ学科 学科長 永野 哲也氏



看護学科 学科長 河口 朝子氏



栄養健康学科 学科長 古場 一哲氏

## 長崎県立大学 open campus

7.14 日 経営学部 10:00~16:00  
地域創造学部 10:00~16:00  
看護栄養学部 11:00~16:00

7.15 月祝 国際社会学科 13:00~16:00  
情報システム学部 13:00~16:00

無料送迎バスあり 当日参加OK!

## 長崎県立大学 UNIVERSITY OF NAGASAKI

詳しくは大学ホームページで <http://sun.ac.jp/>

長崎県立大学 オープンキャンパス

### 学生支援課

事前申込みは大学ホームページ、電話、FAXで受け付けます。

佐世保校 佐世保市川下町123  
TEL 0956-47-5703 FAX 0956-47-4616

シーボルト校 西彼村郡長町町まなび野1-1-1  
TEL 095-813-5065 FAX 095-813-5222



# 実践教育、の学生 社会へ

## ～採用担当者の声紹介～

長崎県立大学は2016年度に学部学科を再編し、グローバル化、情報化に対応する人材育成の強化に取り組んできました。長期インターンシップや多様な実習カリキュラムなど、長崎をフィールドにした実践的学習を通じて専門性や即戦力となるスキルの向上

を図り、本年度、1期生となる4年生が就職活動を行いました。専門的な学びと実践教育の成果は、企業の目にどのように映ったのでしょうか。これまでに同大の学生を採用または来年採用予定の九つの企業や行政機関などの担当者の声を紹介します。

(企画・制作/長崎新聞社営業局)



### 親和銀行 株式会社親和銀行

佐世保市島瀬町10-12 ☎0956-23-3674  
URL: https://www.shinwabanok.co.jp

人事部長グループ調査役 池田 幸司さん

地方銀行の仕事は地元で頑張っているたくさんのお客さまの応援です。弊行は長崎の地域性を生かしながら、ふくおかフィナンシャルグループの各銀行と連携することにより、今後も「地域密着型金融」を恒久的な取り組みとして推進・深化させ、長崎県の経済発展を支援してまいります。  
県内で大学生活を送っている学生は、長崎に魅力を感じていると同時に、人口流出などの課題を認識されていると思います。大学時代に培った経験をもとに、柔軟な発想力や創造力、そして果敢な行動力で、一緒に長崎を盛り上げていきましょう。また、お客さまにしっかり寄り添い、お客さまのさまざまなニーズに応えてほしいと思います。  
これまでの考え方や価値観に捉われないこと、時代の変化を先取りし、斬新かつ柔軟でチャレンジングな考え方や行動ができる人を求めています。



### Japanet 株式会社ジャパネットホールディングス

佐世保市日野町 ☎0956-26-1300  
URL: https://www.japanet.co.jp/corporate

人事部長人事戦略部 田中 久美さん

当社では販売戦略、商品仕入れ、媒体制作、コールセンター、物流・設置、修理・アフターサービスまで一貫して自社で行う通販事業に加えて、2019年よりスポーツ・地域創生事業も展開しています。  
職種は60種類以上あるので、自分の可能性を狭めず、変化と成長を楽しんでほしいです。当社で働く長崎県立大学の卒業生も、テレビショッピング制作や広報、人事、システム開発、お客様対応品質改善など、さまざまな分野で活躍しています。  
スポーツ・地域創生事業では、感謝とビジネスの両立の視点を持つ方、長崎や日本各地の魅力の本気で磨いて伝えたいという思いのある人を求めています。RPAなどITの活用にも取り組んでおり、この分野でスピード感を持って成長したいという人の採用にも力を入れています。



### 佐世保市役所

佐世保市八幡町1-10 ☎0956-24-1111  
URL: https://www.city.sasebo.lg.jp

総務部職員課主任 守 泉さん

佐世保市は港湾部や基地政策局なども有する国際色豊かな自治体であり、「クルーズ船入港体制整備」「英語が話せる街 佐世保」「基地との共生共生」「R誘致」などのリーディングプロジェクトを掲げています。  
長崎県立大学は全国の国公立大学で初めて長期インターンシップを必修化したそうで、実践教育への思いの強さを感じます。佐世保市でも今夏、複数の県立大生をインターンシップで受け入れました。一緒に働いてみて驚かされたのは、市や市内各地についての知識の深さです。社会の課題やニーズを読み取り柔軟な発想で変革を提案するなど、フィールドワークで培った実践力の高さを感じました。人口減少が顕在化する今後、経済や環境もこれまで以上に大きな変化を迎えます。内外に広くアンテナを張り、自発的に行動できる力にも注目していきたいです。



### Canon 長崎キヤノン株式会社

東彼杵郡波佐見町折敷瀬925-1 ☎0956-85-1111  
URL: https://nagasaki.canon

人事部長 三原 絢香さん

2010年3月より東彼杵波佐見町で操業を開始。世界シェア1位のデジタルカメラをはじめ、プロジェクト、ネットワークカメラなどのキヤノン製品を幅広く支える拠点として発展するとともに、雇用創出や地域経済にも貢献してまいりました。大学で地域経済の活性化・拡大をテーマに研究してきた学生にとっても、成果を還元できる職場となるのではないのでしょうか。  
現在、世界情勢や市場・経済環境は大きく変化しています。私たちはその変化に「即座に」「柔軟に」対応していかなければなりません。指示を受けて仕事をするだけでなく、自ら学ぶ姿勢を大事にしてほしいと思います。また、若手ならではのフレッシュな視点から職場を觀察し、既成概念にとらわれない自由な発想や創意工夫の心で、業務改善策をどんどん企画・立案してくれることを望みます。



### NABIC 長崎空港ビルディング株式会社

大村市筑島町593 ☎0957-52-5002  
URL: https://www.nabic.co.jp

総務部人事課長代理 佐藤 有紀さん

空港ターミナルビルの施設運営会社としては、全国でも珍しい多岐にわたる事業展開が特徴で、ビル保守管理のほか、自社の売店(免税店含む)やレストランの運営、全日本空輸(ANA)を中心とした搭乗カウンターなどの地上支援業務(グランドスタッフなど)、旅行業なども行っています。長崎空港の昨年の乗降客数は前年度比約3.5%増の326万9487人で過去最高を更新。海外からのお客さまも多く、授業で育んだグローバルな視点や語学力、コミュニケーション力をぜひ第一線で役立ててほしいと考えています。  
長崎県立大学では地域発展に向けて課題解決を目指す人材の育成にも取り組んでいると聞きます。当社は「長崎の空の玄関口」であり、文化・観光の発信基地として、採用では地元愛や地域貢献の思いも重視し、学生の「地元のために尽力したい」という思いやチャレンジ精神にたいく期待を寄せています。



### 扇精光コンサルタンツ株式会社

長崎市田中町585-4 ☎095-839-2114  
URL: http://www.ougis.co.jp/ougis\_infra

取締役総務部長 曾我 忠治さん

道路や河川、橋梁、都市計画、農業土木、公園などの公共事業をメインに、測量、設計、補償、環境調査、文化財調査などを行うインフラの技術集団です。UAV(ドローン)やUAV搭載型3Dスキャナーといった最先端技術を導入し、災害関連の迅速な調査にも貢献しています。  
近年、国土交通省のICT活用推進施策も相まって、新規事業への取り組みや働き方改革を踏まえた業務効率化を追求するうえでICTスキルは作業遂行に必要不可欠なものとなっています。情報技術系の学生には、土木の分野も受け皿となることを広く知ってほしいです。最先端技術を駆使した最適な提案をする総合建設コンサルタントを目指し、今後は情報技術を学んだ学生を即戦力として迎え入れ、会社全体の多様な情報の一元管理やシステム構築の核となる仕事を任せたいと考えています。



### Sony Semiconductor Manufacturing Corporation ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社

諫早市津久業町1883-43 ☎0957-22-7111  
URL: https://www.sony-semicon.co.jp

人事部長 人事課 池田 佳菜子さん

ソニーグループの半導体デバイスメーカーです。当社で開発・製造する「CMOSイメージセンサー」はスマートフォンやタブレット、カメラなどに搭載されています。圧倒的な技術力で世界シェアの52%を占め1位(2017年金額ベース、テクノシステムリサーチ調べ)を誇ります。  
さまざまな用途で市場が拡大する中、膨大なデータを活用してよりよい製品開発や生産効率を上げる仕組みの導入を進めており、若手の活用にも力を入れています。長崎県立大学では即戦力につながる授業を展開しているそうなので、大学で身に付けた情報スキルを開発・製造現場で発揮してもらえたら期待しています。技術職だけでなく、経営管理や生産管理、総務、人事、経理など文系でも多様な人材が活躍できるフィールドがあり、得意分野を生かして働く職場環境整備にも取り組んでいます。



### 日本赤十字社 日本赤十字社 長崎原爆病院

長崎市茂里町3-15 ☎095-847-1511  
URL: https://www.nagasaki-med.jrc.or.jp

総務課 人事係長 奥村 亜紀さん

赤十字の使命のもと、地域ならびに被爆者の皆さまへの良質な医療の提供を目指し、健康管理と治療に日々専念しています。看護学科の学生は新生児から高齢者までさまざまな世代の患者を想定したシミュレーション教育と豊富な実習経験により、高い現場対応力を備えている印象です。医療と生活の両面からサービス全体を統合的にマネジメントする能力が求められる今、自ら考え主体的に行動できる看護士を目指してもらいたいです。  
赤十字では国内外の救護救済活動も職務です。定期的に野外演習や防災訓練などの研修を行い、有事に迅速に対応できる救護員の育成にも日々取り組んでいます。大学の授業では雲仙普賢岳噴火被災地の島原を背景に「災害看護学実習」にも取り組み、救護員の役割についての理解や医療従事者としての使命感も備わっていると推察します。



### Tarami 株式会社たらみ

長崎市中里町2178 ☎095-839-1111  
URL: https://www.tarami.co.jp

取締役人事課部長兼生産課部長 桑山 誠さん

「くだもの屋さん」「どっさり」とろける味わい「PURE」「ごっと果実」シリーズなどを展開するフルーツゼリーメーカーで、過去30年間国内シェア1位を維持しています。  
時代を超えて愛され続ける理由は、商品開発へのあくなき姿勢にあります。市場リサーチをもとに開発チームが新商品開発を行い、一つの商品を作成させるまでの試作回数は200~300回にのぼります。その際、大学で学ぶ食品学、調理学、基礎栄養学、細胞生理学、公衆栄養学、解剖学など幅広い分野の知識や、計画を立て実践、検証、改善を行う「PDCAサイクル」などの研究手法が役に立ちます。食品業界は「トレンドの変化」が激しく、消費者目線では先を捉えながら常に新しい提案が必要で、これから入社する若手社員には、挑戦心を失わず開発をけん引する存在になってほしいと願っています。



<p><b>経営学科</b> 経営学部</p> <p>想定される進路 小売・サービス、通信、運輸、金融など、幅広い分野の企業、経営者・起業家、教員 など</p> <p>内定実績 大分銀行、鹿児島銀行、佐々木冷蔵、新日本製菓、トランスコスモス、長崎銀行、リコージャパン など</p>	<p><b>国際経営学科</b> 経営学部</p> <p>想定される進路 商社、日本企業の海外事業部門(小売・サービス、通信、運輸、金融など)、外資系企業や海外企業 など</p> <p>内定実績 SMBC日興証券、NEC、NTTコミュニケーションズグループ、JAL、ソラシドエア、日本年金機構、富士通ゼネラル など</p>	<p><b>公共政策学科</b> 地域創造学部</p> <p>想定される進路 地方公務員、国家公務員、警察、消防、電気・ガスなどの公共事業会社、農協、漁協、商工会議所、観光協会などの地域の団体、教員 など</p> <p>内定実績 九州経済産業局、九州農政局、厚生労働省、国税専門庁、長崎県(教育事務、警察事務)、長崎市、法務省、メモリー など</p>
<p><b>実践経済学科</b> 地域創造学部</p> <p>想定される進路 地域経済の中核を担う企業や地域密着型の企業(金融、小売・サービス、通信、運輸など)、公務員、教員 など</p> <p>内定実績 九州労働金庫、全国農業協同組合、ゼンショーホールディングス、谷川建設、長崎キヤノン、日本郵便、ペイロール など</p>	<p><b>国際社会学科</b> 国際社会学部</p> <p>想定される進路 放送局、新聞社、旅行会社、航空会社、広告代理店、金融機関、自治体の国際部門、教員 など</p> <p>内定実績 アパホテル、ANA、エイチ・アイ・エス、オリックス生命保険、ティーエスブランド、東洋通信博通社 など</p>	<p><b>情報システム学科</b> 情報システム学部</p> <p>想定される進路 情報システム、CG制作会社、Webデザイン会社、映像プロダクション(広告・印刷・出版) など</p> <p>内定実績 九電ビジネスソリューションズ、JR西日本ITソリューションズ、西日本映画、日本ビジネスソフト、ムラシステム など</p>
<p><b>情報セキュリティ学科</b> 情報システム学部</p> <p>想定される進路 企業のセキュリティ部門、公務員(サイバーセキュリティ)、セキュリティコンサルティング企業、IT関連企業 など</p> <p>内定実績 京セラコミュニケーションシステム、佐友電機、総務省(九州総合通信)、長崎市、富士通ソフトウェアインクスラボラトリー など</p>	<p><b>看護学科</b> 看護学養学部</p> <p>想定される進路 看護師、養護教諭 など</p> <p>内定実績 長崎県立病院、長崎大学病院、独立行政法人国立病院機構 九州センター-福岡赤十字病院、福岡大学病院 など</p>	<p><b>栄養健康学科</b> 看護学養学部</p> <p>想定される進路 栄養士、管理栄養士、食品開発や食品利用に関する研究、栄養教諭 など</p> <p>内定実績 エムサービス、大光食品、ながさき内科・リウマチ科病院、日清食品、東フーズ など</p>



佐世保校  
TEL:0956-47-2191  
長崎県西彼杵郡波佐見町1-1-1  
TEL:095-813-5500



# キャンパスでの学び糧に「社会」へ

## ～卒業前の4年生インタビュー～

2016年度に学部学科を再編した長崎県立大学。本年度、1期生となる4年生がいよいよ卒業を迎えます。「KEN-SUN力～地域から世界へ挑む長崎県立大学生～」のディプロマ・ポリシーのもと、グローバル化、デジタル化が加速する時代に対応

した人材育成を目標に、即戦力や専門性を高めるカリキュラムで実践的学びを深めた学生たち、4年間の学びはどのように就職に結びついたのでしょか。内定が決まった各学科の学生9人に話を聞きました。

〈企画・制作／長崎新聞社営業局〉

### マーケティング戦略学部



経営学部経営学科  
上杉 陸さん

佐世保市内の商店街で実地調査を行い、地域活性化に向けた課題解決策を探索しました。また県立大学独自のプログラム「しまなび」では舌鼓を訪れ、離島の魅力発信の方法を提案。統計学を用いた分析や、経営者へのアンケート調査、来店客や地域住民とのコミュニケーションの中から潜在的ニーズを探るなど、多角的な視点から販売・経営管理を見つめ、身を持ってマーケティング戦略を学びました。内定先は社会医療法人財団白十字会であり、今後は医療マーケティング

を舞台に力を発揮していきたいです。これまで学んだ知識だけでなく、世の中の流れや社会情勢などにもっとアンテナを張り、どのようなサービスが必要とされているかをいち早く把握し、多様なニーズに応えられる人材になれるよう努力していきたいです。



### 海外研修で実践力向上



経営学部国際経営学科  
竹尾 礼さん

入学時から「将来、国内外で活躍したい」と強い思いを抱き行動してきたことが、SMBC日興証券の内定につながりました。この学科ではグローバル経営についての理論を体系的に学んだ後、すぐに海外に出てアウトプットできるカリキュラムが組まれており、実践力を養うことに注力できます。私の場合は1年次のセブ島への語学研修を経て、2年次にシンガポールの旅行会社、3年次にベトナムの日本語学校と、2度の海外インターンシップを経験しました。シンガポールでは

現地の学生とペアになり、英語でやり取りをしながら観光ツアーの企画書を作成。共同作業によって語学力をはじめ、グローバルな視座で全体を俯瞰して見る力、多様性を受け入れる柔軟な思考、新しい価値観に触れて広がる創造性など、机上の学習では手にできない多くの学びを得ることができました。



### 実践で職業理解深まる



地域創造学部公共政策学科  
林 大二郎さん

佐世保市主催の学習支援ボランティアに参加しています。不登校や経済的事情など、さまざまな悩みを抱える子どもたちを支援する中で、社会の課題を肌で感じるとともに、地域や人の助けとなる仕事への関心がさらに高まりました。3年次には「公共機関インターンシップ」で3週間、平戸市役所での研修に参加しました。観光案内所で職員の一員として対応した際、地元の人やビジネスでの来訪客、外国人旅行者など背景の異なる人たちが訪れ、行政サービスの奥深さを体

感。インターンシップは自分がやりたい仕事は何なのかを明確に提示してくれる良い機会になりました。最終的に選んだ就職先は農林水産省九州農政局です。一番の志望動機は、農業という体験したことのないフィールドに挑戦してみたいと思ったことです。こうしたチャレンジ精神も実践的授業で培ったものだと感じています。



### 地元企業知る授業豊富



地域創造学部実践経済学科  
永吉 新さん

各種メーカー、運輸業、観光サービス業など地元企業のトップを招き講話を聞く「ビジネス経済の実践」、企業に取材しながらテーマの調査・分析を行う「地域企業研究」など、地元企業を直接的に知る授業が多く、地域に根差した学びを吸収しました。また、ミクロ・マクロ、金融、環境経済など、多角的な視点から経済について学び、単なる知識としての蓄えではなく、日々変化する経済状況に一定の予測を立てて考える力も付きました。3年次の「長期インターンシップ」先には第百

不動産を選びました。佐世保市を拠点に賃貸、売買、管理、コンサルタント業まで幅広い事業を展開し、そのスケールの大きさに感銘を受け、そのまま求人に応募。実際の職場を知っていること、社長の経営理念に直に触れたことが大きな理由となりました。



### 海外研修で志望固まる



国際社会学部国際社会学科  
鈴木 花澄さん

入学時の英語力はTOEIC400点台。卒業要件の730点を達成するのは途方もない道のりに感じました。しかし、授業では単に文法や語彙の学習だけでなく、日常会話のリスニング、ビジネスメール、広告の読み取りなど、ストーリー性のある教材でその内容を楽しんでいるうちに語学力が自然に伸びていきました。2年次には1カ月間、米言語学研修も経験。海外に出て気付いたのは、異文化理解とコミュニケーションの不足です。ただ英語を話せるようになるだけでなく、

英語を使ってどのように人々や社会と関わっていきたいのかを考えるようになり、この経験が就職先のANA福岡空港への応募のきっかけにもなりました。世界中から人が集まる空港で国際感覚にさらに磨きをかけ、最適なサービスを提供できるスタッフを目指します。



### 計画的に学び目標達成



情報システム学部情報システム学科  
竹下 葵さん

システムの運用・監視・保守を行うJIG-SAWに入社予定です。卒業までに基本情報技術者試験に合格するという目標をはっきりあつたので、計画的に学習を進められました。プログラミング言語を覚えるまでは大変でしたが、演習形式の授業が多かったので実際にプログラムを書く経験やどんどん積んで体得することができました。元々、デザインにはあまり関心がなかったのですが、この学科でシステムとデザインの両方を学ぶうちに、色彩が与える心理的影響や視覚

効果、操作性についての知識が深まり、ユーザーの立場から使いやすさを追求する「ユーザビリティ」の視点が身に付きました。これから仕事でエンジニアとして活躍する上においても、大学でデザインを学んだことが強みとして生きてくるはずですよ。



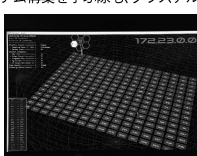
### 実戦的スキルが強みに



情報システム学部情報セキュリティ学科  
姉山 明日香さん

昨今、さまざまな産業でIoTの導入が増え、セキュリティの重要性もこれまで以上に高まっています。セキュリティを専門に学ぶ学科を備えた大学は全国的にも珍しく、就職活動をするにあたって基本的知識と実践的スキルを備えているという点は大きな強みとなりました。とはいえ、入学当初はセキュリティはおろか情報技術そのものへの知識に乏しく、専門的な授業についていけるか不安でいっぱいでした。授業ではプログラミングやシステム構築を学ぶ際も、プラスアル

ファでセキュリティに関連づけて学習をしてきました。そのおかげでリスク管理の観点からシステム全体を見渡す癖がつき、何事もセキュリティに関連して考えられるようになりました。即戦力として企業に迎え入れてもらえるまでに成長できたのは、丁寧な指導と実践演習の積み重ねの結果だと思います。



### 臨地実習で得た看護観



看護学部看護学科  
寺田 穂乃香さん

看護は実践を通じてこそ身に付く学科です。1、2年次は主に座学での授業で基礎を学び、理論に基づいた看護ケアのあり方を自分の中で育みます。その後はシミュレーション授業や実習をメインに自らの体験を通じて学習を深める段階に入ります。その際、覚えた知識をどのように使うのか、看護技術の向上が課題となりました。特に病院での臨地実習では患者さまとの向き合い方を考えさせられました。担当の患者さまの個別性に応じた看護過程を展開し、状態が改善さ

れたときは手応えを感じるとともに、「患者さまやその家族の心に寄り添う看護ケア」という看護観も掘り下げることができました。病院での実習を経て、看護実践力に加えて自主性や行動力も高めることができ、そうした点を採用側も好意的に受け止めてくれたのだと思います。



### 演習で問題解決力養う



看護学部看護健康学科  
長尾 亜紀さん

「健康に欠かせない食の重要性を広く発信していきたい」との思いから、総菜の製造販売を行うヤマダイ食品に入社を決めました。大学では栄養学はもちろんのこと、グループワークや多彩な演習を通じて問題解決力も養うことができました。栄養の専門家としての提案力と、お客さまが抱える課題に付き一緒に解決策を探る姿勢があることが、企業から一定の評価を受けたのだと思います。臨地実習では学校や市役所、病院などさまざまな場に出掛けてそれぞれの栄養管理の

特色を学び、ゼミでは運動生理学の研究に力を入れて取り組みました。チームでの連携作業や人前で説明をする機会も多かったため、そのような場で培った協調性や傾聴力、プレゼン力なども今後、仕事で発揮していきたいです。



新入生に聞く  
県立大学のイメージ 第1位 地域に貢献している

※1は18年度1期生新入生アンケートの結果です。 ※2の内定実績は10月31日現在のものです。

経営学科	経営学部
<p><b>想定される進路</b> 小売・サービス、通信、運輸、金融など、幅広い分野の企業、経営者・起業家、教員 など</p> <p><b>内定実績</b> 大分銀行、鹿児島銀行、佐々木冷庫、新日本製菓、トランス・コスモス、長崎銀行、リコージャパン など</p>	<p><b>国際経営学科</b></p> <p><b>想定される進路</b> 商社、日本企業の海外事業部門(小売・サービス、通信、運輸、金融など)、外資系企業や海外企業 など</p> <p><b>内定実績</b> SMBC日興証券、NEC、NTTコミュニケーションズグループ、ジャパネットホールディングス、JAL、ソラシドエア、日本年金機構、富士通ゼネラル など</p>
実践経済学科	地域創造学部
<p><b>想定される進路</b> 地域経済の中核を担う企業や地域密着型の企業(金融、小売・サービス、通信、運輸など)、公務員、教員 など</p> <p><b>内定実績</b> 九州労働金庫、全国農業協同組合、セシヨーホールディングス、谷川建設、長崎キャンパス、日本郵便、ペイロール など</p>	<p><b>国際社会学科</b></p> <p><b>想定される進路</b> 放送局、新聞社、旅行会社、航空会社、広告代理店、金融機関、自治体の国際部門、教員 など</p> <p><b>内定実績</b> アパホテル、ANA、エー・アイ・エス、オリックス生命保険、ティーエスブランド、東洋信託通信社、長崎空港ビルディング など</p>
情報セキュリティ学科	情報システム学部
<p><b>想定される進路</b> 企業のセキュリティ部門、公務員(サイバー部門)、セキュリティコンサルティング企業、IT関連企業 など</p> <p><b>内定実績</b> セラコムコミュニケーションシステム、住友電装、税務省(九州総合通信局)、ソーセコ、シタックマニファクチャリング、長崎市、富士通ソリューションズラボラトリー など</p>	<p><b>看護学科</b></p> <p><b>看護学部</b></p> <p><b>想定される進路</b> 看護師、看護教諭 など</p> <p><b>内定実績</b> 長崎北病院、長崎大学病院、独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 福岡赤十字病院、長崎原研病院、福岡大学病院 など</p>

公共政策学科	地域創造学部
<p><b>想定される進路</b> 地方公務員、国家公務員、警察、消防、電気、ガスなどの公共事業会社、農協、漁協、商工会議所、観光協会などの地域の公的団体、教員 など</p> <p><b>内定実績</b> 九州経済産業局、九州農政局、厚生労働省、国税専門官、佐世保市、長崎県(教育事務、警察事務)、長崎市、法務省、メモロード など</p>	<p><b>情報システム学科</b></p> <p><b>情報システム学部</b></p> <p><b>想定される進路</b> IT関連企業、CG制作会社、Webデザイン会社、映像プロダクション、広告・印刷・出版 など</p> <p><b>内定実績</b> 情報光コンサルティング、九電ビジネスソリューションズ、JR西日本ITソリューションズ、日本ビジネスソフト、日立ソリューションズ西日本、富士通・エイ・エス など</p>
栄養健康学科	看護健康学部
<p><b>想定される進路</b> 栄養士、管理栄養士、食品開発や食品利用に関する研究者、栄養教諭 など</p> <p><b>内定実績</b> エムサービス、大光食品、たらみ、なごき内科・リウマチ科病院、日清医療食品、東ファーマシー など</p>	<p><b>看護健康学科</b></p> <p><b>看護健康学部</b></p> <p><b>想定される進路</b> 栄養士、管理栄養士、食品開発や食品利用に関する研究者、栄養教諭 など</p> <p><b>内定実績</b> エムサービス、大光食品、たらみ、なごき内科・リウマチ科病院、日清医療食品、東ファーマシー など</p>

## 長崎県立大学ディプロマ・ポリシー

けんさんりよく

## KEN-SUN 力 ～地域から世界へ挑む長崎県立大学生～

## 【長崎とNagasaki】

長崎で地域を理解するとともに世界の中のNagasakiを知ること、グローバルに交流しながら地域・国際社会に貢献し、平和を創る力

## 【知識と知恵】

未来を生き抜く知識を修得し、それを知恵として活用する力

## 【尊重と主張】

他者を尊重するとともに、自己を主張し、協働・共生する力

## 【想像と創造】

物事を多面的・俯瞰的にとらえる想像力と新しい知を創造する力

## 【挑戦と継続】

未知の課題に挑戦しつつ、学びを継続する力

## 【自立と自律】

自立した生活と自律的な学びをする力

[このページの先頭へ↑](#)

## 経営学部

## ディプロマ・ポリシー

経営学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 経営に関する基礎理論と企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識
2. 経営、マーケティング、会計等に関する専門的な知識をもとに、経営上の諸問題を発見・分析・解決できる実践的能力
3. 外国語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力
4. 他者の意見や人格を尊重しながら提案・行動をすることができる能力

## カリキュラム・ポリシー

経営学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、マーケティングや経済に関する基礎的な科目を配置する。
2. 経営上の諸問題を理解するために必要な専門的な知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目を配置する。
3. 経営上の諸問題を発見・分析・解決し、ビジネスの場で活躍できる実践能力を育成するため、発展科目として経営・国際経営・会計等関連科目、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させ、それまで学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養させるため、ゼミナール科目を配置する。
5. 国際経営学科では、全学教育と専門教育の連携により語学力を向上させ、英語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力向上させるため、英語による授業等の科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

## 経営学科

## ディプロマ・ポリシー

経営学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（経営学）の学位を授与します。

1. 経営に関する基礎理論と企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識
2. 経営、マーケティング等に関する知識・知見をもとに、経営上の諸問題を発見・分析・解決できる実践的能力
3. 会計、簿記、税務等に関する専門的な知識
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

## カリキュラム・ポリシー

経営学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、マーケティングや経済に関する基礎的な科目を配置する。
2. 経営上の諸問題を理解する専門的な知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目並びに会社法や簿記に関する科目を配置する。
3. 経営上の課題を発見・分析・解決するための知識を修得させるため、発展科目として経営学・マーケティング分野及び会計関連分野の科目を配置する。また、それらの知識を統合し実践能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

## 国際経営学科

### ディプロマ・ポリシー

国際経営学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（経営学）の学位を授与します。

1. 経営に関する基礎理論と企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識
2. 海外に事業展開している企業の仕組みやグローバルな環境を理解し、国際的なビジネスの場で活用できる実践的能力
3. 外国語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

### カリキュラム・ポリシー

国際経営学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、マーケティングや経済に関する基礎的な科目を配置する。
2. 経営上の諸問題を理解する専門的な知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目並びにグローバルな経営に関する科目を配置する。
3. 海外に事業展開している企業の仕組みやグローバルな環境を理解し、国際的なビジネスの場で活躍するために必要な知識を修得させるため、発展科目として国際経営及び経営・経済関連分野の科目を配置する。また、それらの知識を統合し実践能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。
6. 全学教育と専門教育の連携により語学力を向上させ、英語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を向上させるため、英語による授業等の科目を配置する。

### カリキュラム・ツリー (97.1 kB)

[このページの先頭へ↑](#)

## 地域創造学部

### ディプロマ・ポリシー

地域創造学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 地域の諸課題を理解し、調査・分析できる能力
2. 政策や企画を立案するプロセスを修得し、公的団体等の政策を企画・立案できる能力
3. 経済に関する知見をもとに、地域経済動向を分析できる能力
4. 地域企業の海外事業展開などをグローバルな視野で推進できる能力
5. 他者の意見や人格を尊重しながら提案・行動をすることができる能力

### カリキュラム・ポリシー

地域創造学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 地域や経済に関する知識を修得させるため、学部共通科目として地域経済論等の基礎的な科目を配置する。また、地域創造学部の教育内容を概観するため、「地域創造概論」を配置する。
2. 公共政策や基礎的な経済理論を理解するために必要な知識を修得させるため、基幹科目として公共政策や地方政治、経済学に関する科目を配置する。
3. 地域の諸問題に関する見識を高めさせるとともに、それらの分析に必要なスキルを修得させるため、発展科目として高度な政策関連科目及び経済関連科目、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させ、それまで学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養させるため、ゼミナール科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

## 公共政策学科

### ディプロマ・ポリシー

公共政策学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（公共政策学）の学位を授与します。

1. 地域が抱える諸問題を理解する能力
2. 社会調査及び分析手法を修得し、諸分野に活用できる能力
3. 政策や企画を立案するプロセスを修得し、公的団体等の政策を企画・立案できる能力
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

## カリキュラム・ポリシー

公共政策学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 地域創造学部教育内容を概観するための「地域創造概論」や、地域や経済に関する知識を修得させるため、学部共通科目として地域経済論等の基礎的な科目を配置する。
2. 地域社会が抱える様々な課題を分析・考察し、政策や企画を立案するプロセスを理解させるため、基幹科目として必要な科目を配置する。
3. 地域の諸課題に関する見識を高めるため、発展科目として高度な政策関連科目及び公共政策の諸分野に関する科目を配置する。また、それらの知識を統合し実践的能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

## カリキュラム・ツリー (187.3 kB)

[このページの先頭へ↑](#)

### 実践経済学科

#### ディプロマ・ポリシー

実践経済学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（経済学）の学位を授与します。

1. 地域経済動向などの分析に必要な知識とスキル
2. 地域経済が抱える諸課題に関する分析能力や解決能力
3. 地域企業の海外事業展開などをグローバルな視野で推進できる能力
4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力

## カリキュラム・ポリシー

実践経済学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 地域創造学部教育内容を概観するための「地域創造概論」や、地域や経済に関する知識を修得させるため、学部共通科目として地域経済論等の基礎的な科目を配置する。
2. 地域経済動向などの分析に必要な知識を修得させるため、基幹科目として基礎的な経済理論を理解するための科目を配置する。
3. 経済の諸課題に関する見識を高めるため、発展科目として高度な経済関連科目並びに地域経済及び企業経済関連科目を配置する。また、それらの知識を統合し、実践能力を育成するため、実践科目を配置する。
4. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

## カリキュラム・ツリー (108.2 kB)

[このページの先頭へ↑](#)

### 国際社会学部

#### ディプロマ・ポリシー

国際社会学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（国際社会学）の学位を授与します。

1. 国際社会の構造、現状及び動向について基本的な知識を修得し、現代社会における諸問題を多面的に理解する能力
2. グローバル化する現代社会の諸課題を自ら発見し、解決に導く能力
3. メディアに関する基礎知識を修得し、自らの意見を発信する能力
4. 国際感覚と高い外国語能力に裏づけられたコミュニケーション能力を有し、地域社会や国際社会のために積極的に働きかけができる能力

## カリキュラム・ポリシー

国際社会学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 国際社会に関する知識を修得させるため、入門科目として国際関係やメディア社会に関する基礎的な科目を配置する。
2. 国際社会が直面する問題の理解を目指し、基幹科目として国際政治学、国際経済学、メディア社会学、マスコミュニケーション論等の学術的知識を修得させる科目を配置する。
3. 国際社会を多角的に分析・考察できるように、発展科目としてグローバル社会の研究、地域研究、メディア研究に関する科目を配置する。
4. 論理的な表現力とコミュニケーション力を育成するための演習科目、専門知識を実践的に活かすための実践科目を配置する。
5. コミュニケーション能力（意見の発信・傾聴）、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。
6. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。
7. 外国語教育については、全学教育科目及び専門教育において英語または中国語を必修とし、コミュニケーション能力の向上のため、外国語による授業、留学生との討論、発表等の科目を配置する。

## カリキュラム・ツリー (48.5 kB)



## 情報システム学部

### ディプロマ・ポリシー

情報システム学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、OS、プログラミング、システム開発等に関する知識や技術
2. CGや映像、サウンドなどの各種コンテンツを制作するための感性豊かな実践的創造力
3. 情報セキュリティ分野において活躍するための基本的な知識や技術
4. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力

### カリキュラム・ポリシー

情報システム学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、学部共通科目として情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。
2. 情報システム学部では、プログラミングやコンテンツ制作に関する知識を深めるため、学科専門科目として情報システムに関する応用科目と情報デザインに関する科目を配置する。
3. 情報セキュリティ学科では、セキュリティに関する知識を深めるため、学科専門科目として情報セキュリティ技術とセキュリティマネジメントに関する科目を配置する。
4. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。
5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

## 情報システム学科

### ディプロマ・ポリシー

情報システム学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（情報システム学）の学位を授与します。

1. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、OS、プログラミング、システム開発等に関する知識や技術
2. CGや映像、サウンドなどの各種コンテンツを制作するための感性豊かな実践的創造力
3. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力

### カリキュラム・ポリシー

情報システム学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、学部共通科目として情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。
2. プログラミングやコンテンツ制作に関する知識を深めるため、学科専門科目として情報システムに関する応用科目と情報デザインに関する科目を配置する。
3. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。
4. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

### カリキュラム・ツリー (97.0 kB)

[このページの先頭へ↑](#)

## 情報セキュリティ学科

### ディプロマ・ポリシー

情報セキュリティ学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（情報セキュリティ学）の学位を授与します。

1. 情報セキュリティ分野において活躍するための基本的な知識や技術
2. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、OS、プログラミング、システム開発等に関する知識や技術
3. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力

### カリキュラム・ポリシー

情報セキュリティ学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、学部共通科目として情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。
2. セキュリティに関する知識を深めるため、学科専門科目として情報セキュリティ技術とセキュリティマネジメントに関する科目を配置する。
3. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。
4. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。

### カリキュラム・ツリー (96.3 kB)

## 看護栄養学部

### ディプロマ・ポリシー

看護栄養学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 看護師または管理栄養士の国家資格を得て、高度な専門知識と実践能力を駆使して人々の健康と福祉の向上に貢献できる能力
2. 食の知識が豊富な看護師または医療や看護の知識が豊富な管理栄養士として、「チーム医療」の一員として活躍できる能力
3. 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または「食と健康」の中核的役割を担う栄養教諭および学校栄養職員として、教育現場で活躍できる能力
4. 看護や栄養の分野で活躍する高度専門職業人、研究者、教育者をめざすことができる能力

### カリキュラム・ポリシー

看護栄養学部では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通専門科目として、食の知識が豊富な看護師または医療や看護の知識が豊富な管理栄養士として実践に活かすことができる科目を配置する。
2. 看護学科では、健康に対する基礎的理解を目的とした専門基礎科目、看護の基盤形成、看護判断力・看護技術力・人間関係形成力の養成、看護の展開能力の育成、看護の実践能力の統合を目的とした看護専門科目を配置する。
3. 栄養健康学科では、学科専門科目として栄養学の基礎知識と技術の修得および生命科学への関心を養うための専門基礎科目、各職域の管理栄養士として必要な実践的な専門知識と技術の修得を行うための専門科目を配置する。
4. 学内において修得した知識と技術を統合し、学外での実習を行い、社会性や協調性および実践的な問題解決能力を養う。
5. 養護教諭または栄養教諭免許取得を希望する学生のために、養護教諭または栄養教諭一種免許取得のための教職課程科目を配置する。
6. 「看護研究方法論」または「専門ゼミナール」に続く「卒業研究」を通して、自らが設定した課題を実験または調査研究により追及することにより、研究計画の立案力、創造力、総括力、結果の解析・洞察の能力を養う。

[このページの先頭へ↑](#)

## 看護学科

### ディプロマ・ポリシー

看護学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護の対象である人間の理解と生命の尊厳に基づいた支援ができる能力
2. 個人や集団の健康状態を的確に捉え、生活の質の向上を目指した基礎的看護実践能力
3. 保健・医療・福祉等の他職種と連携・協働しながら、看護の専門性とリーダーシップの基礎的能力を発揮し、チームの一員として看護活動ができる能力
4. 看護専門職として、生涯にわたり看護の質向上へ向け自己学習、自己研鑽できる基礎的能力

### カリキュラム・ポリシー

看護学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 教養教育の充実をはかり、人間性豊かな看護職養成のために全学教育科目単位を30単位以上とする。
2. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通科目を構成し、食と運動について理解した上で看護職として実践に活かすことができる科目を配置する。
3. 看護専門職としての実践力を備えた看護職養成のため、カリキュラムおよび学習内容の順序性を考慮したカリキュラム編成とする。
4. 地域で暮らす人々の生活と健康との関係を理解したうえで役割が果たせるように、保健医療福祉の連携と看護の役割について講義、演習、実習を通して理解できるように構成する。
5. 保健師養成を大学院教育とするが、学部における看護師養成においても地域における人々の生活の理解と健康教育支援の科目を配置する。
6. 看護職として基礎的学習の統合として「総合看護」「しまの健康実習」「災害看護学実習」を位置づける。
7. 養護教諭免許取得希望者で所定の条件を満たす学生のために、養護教諭一種免許取得のカリキュラムを配置する。

### カリキュラム・ツリー (43.5 kB)

[このページの先頭へ↑](#)

## 栄養健康学科

### ディプロマ・ポリシー

栄養健康学科では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士（栄養健康学）の学位を授与します。

1. 「食と健康」に関する生命科学・健康科学の基本的・最新の知識および技術を修得しており、それらを実践的に展開できる能力
2. 個々の対象者の病態や栄養状態の特徴に基づく栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメント能力
3. 子供たちへの食育を通じ、健康的な成長・発達を支援する能力
4. 地域社会の健康保持・増進および疾病予防に関するマネジメント能力

## カリキュラム・ポリシー

栄養健康学科では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 専門基礎科目・専門科目の理解の前提となる科目として、初年次に化学および生物学の基礎的な内容を教授する科目を配置する。また、3年次に、実験系の卒業研究を遂行するために必要となる各種機器分析法の基礎的な原理と分析技術の理解を深める演習科目を配置する。
2. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通科目を構成し、医療や看護の知識について理解した上で管理栄養士として実践に活かすことができる科目を配置する。
3. 専門基礎科目としての『社会・環境と栄養』『生命と健康』『食べ物と健康』の各分野では、講義とそれらの実験・実習を配置し、栄養学を学ぶための基礎知識・技術の修得および生命科学への関心を養う。
4. 栄養学の基幹となる専門科目としての『栄養の基礎』をはじめ、『個人と栄養』および『栄養教育・指導』の各分野では、講義や実験・実習・演習を通し、専門知識・基本技術の修得を行う。
5. 栄養学の実践的な専門科目としての『臨床栄養』『地域栄養』『フードマネジメント栄養』の各分野では、講義および実習を通し、各職域の管理栄養士として必要な高度な専門知識と技術の修得を行う。
6. 学内において各専門科目で修得した知識と技術を統合し、総合演習を経て、病院、保健所、学校・福祉施設等の協力のもと学外での実習（臨地実習）を行い、社会性や協調性および問題解決能力を養う。
7. 本学教員の研究・教育専門分野に関わる「卒業研究」を通して最新の研究を行い、管理栄養士育成のみならず企業への就職や将来の研究者も視野に入れ、研究計画の立案力、創造力、総括力を養い、併せて実験または調査研究から得られたデータの解析・洞察の能力を養う。

## カリキュラム・ツリー (118.8 kB)

[このページの先頭へ↑](#)

### 地域創生研究科

#### ディプロマ・ポリシー

本研究科は以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与する。

1. 各専攻領域に関する高度な専門知識を修得し、批判的かつ総合的な視野をもってさらなる知的創造につなげる能力
2. その知識を従事する職業や組織において活用するため、それぞれの組織のミッションを広い文脈で理解して課題を設定し解決する能力
3. 複雑性・相互依存性が強まる現代において社会・地域の諸課題と個性創出の先進経験を、自らの専門領域との関連性において理解する能力

#### カリキュラム・ポリシー

本研究科各専攻の教育課程は、「研究科共通科目」「専攻共通科目」「専門科目」「研究指導科目」から編成する。

相互依存関係が著しく進展し複雑化した現代社会において、専門的職業人に求められる問題把握力と俯瞰力を育成するため、研究科共通科目として「地域振興特論」と「マネジメント・リーダーシップ特論」を配置する。「地域振興特論」では、複雑性・相互依存性が強まる現代において社会・地域の諸課題の総合的理解と個性創出の先進経験を自らの専門領域との関連性において認識できる能力を修得させる。「マネジメント・リーダーシップ特論」では、専門的知識を自らが従事する職業や組織において先導的に活用し、それぞれの組織のミッションを広い文脈で理解し提案・判断する能力を修得させる。

専攻ごとにも、研究の基礎となり研究領域の学問的先端を広く理解するために専攻共通科目を配置する。

3専攻の領域に対して高度な職業人として活躍できる専門的知識を修得するため、各専攻の専門科目には固有かつ学問領域にふさわしい科目として、現代社会がかかえる諸問題に対し問題の分析、的確な判断、また問題解決のデザイン考案・提案ができる能力の修得を目的とする科目を、コースごとに配置する。

研究指導科目には、修士論文作成の研究指導を行う「特別研究」、社会人学生のための「特定課題研究」を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

### 地域社会マネジメント専攻

#### ディプロマ・ポリシー

地域社会マネジメント専攻では以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 現代社会を理解するための、経営学・経済学・社会学などの高度な専門知識
2. グローバル化・情報化が高度に進展した現代社会を、高度化組織・グローバル市場・地域社会・異文化などの視点から専門知識を活かして総合的に理解・分析する能力
3. 様々な社会的課題をグローバルと地域の両方の観点から問題発見し、導出した解決デザインを先導的に提案し組織化、実行化する能力

## カリキュラム・ポリシー

地域社会マネジメント専攻では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. グローバル化・情報化が高度に進化した現代社会を、特定研究領域を超えて理解・分析する能力修得のための専攻共通科目を配置する。
2. 現代社会を理解するための、経営学・経済学・社会学などの高度な専門知識修得のために、各コースでそれぞれ必要な専門科目を配置する。
3. 専門知識を活かして、現様々な社会的課題をグローバルと地域の両方の観点から問題発見し、解決できるデザインを考え出す能力修得のための研究指導科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

### 情報工学専攻

## ディプロマ・ポリシー

情報工学専攻では以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 進んだ情報科学の知識と技術を修得し、現代の高度情報化社会に貢献できかつ情報基盤を支える能力
2. 必要な倫理観、優れた創造性と先見性をもって、高度情報化社会における課題に先導的に取り組む能力

## カリキュラム・ポリシー

情報工学専攻では、教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 情報処理技術者及び情報工学研究者として必要な、高度な専門的知識や能力を修得させるため、専攻共通科目を配置する。
2. 進んだ情報科学の知識と技術の修得を図るため、各コースでそれぞれ必要な専門科目を配置する。
3. 高度情報化社会における関連諸問題を自ら発見し、解決する能力を身に付けるため、かつ、それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため研究指導科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

### 人間健康科学専攻

## ディプロマ・ポリシー

人間健康科学専攻では以下の能力を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. 人間の健康の保持増進ならびに疾病の予防に寄与する最新の知識や技術を研究開発する能力
2. 最新の知識や技術を活用して国民の健康水準を向上させる能力
3. 地域の専門職と連携して県民の生活習慣に変革をもたらす政策を考案し、リーダーシップを発揮して保健・医療・福祉・介護領域の課題を解決する能力
4. 健康保持増進の視点に立って次世代の専門職育成に資する指導的能力

## カリキュラム・ポリシー

人間健康科学専攻では教育目標を実現するため、以下のような方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 人のQOLの向上に貢献することを目指し、3つのコースに共通する俯瞰的な視点を涵養し、専攻の全体的な教育・研究内容について理解するための導入として、専攻共通科目を配置する。
2. 人間の健康に関して看護学実践、公衆衛生看護学、栄養科学に関する高度な専門的知識を修得するために、各コースでそれぞれ必要な専門科目を配置する。
3. 研究課題を深く探求し、発想力、思考力、分析能力を身に付け、コース領域の発展に資する研究を遂行できる能力を養成するために研究指導科目を配置する。

[このページの先頭へ↑](#)

### 人間健康科学研究科 栄養科学専攻 博士後期課程

## ディプロマ・ポリシー

本課程では、「食や運動と健康」に関わる最新の知識や実践的技術を持ち、さらに健康の保持・増進や質の高い食生活、栄養状態の改善などを科学的に理解・追及し、専門領域の学術レベルの向上に資することにより、次に掲げる知識や能力を有する人材を育成する。

1. 専門的な知識や技術を修得して、基礎栄養科学分野や実践栄養科学分野等において国際的なレベルで高度な専門研究を推進できる研究者としての能力
2. 健康の保持・増進の視点に立ち、次世代の専門職業人を育てる教育研究指導者としての能力
3. 保健・医療・福祉分野で活躍できる高度専門職業人としての知識や実践能力および指導者としての能力

## カリキュラム・ポリシー

1. 栄養科学分野におけるより高度な専門的職業人、研究者および教育指導者を育成するために、『研究支援科目』と『研究指導科目』を設置する。
2. 博士論文研究を支援するために、『研究支援科目』として「基礎栄養科学特講」と「実践栄養科学特講」を設置する。
3. 基礎栄養の高度な知識および理論を修得するために、基礎栄養科学領域の教員による「基礎栄養科学特講」を設置する。
4. 実践栄養の高度な知識および理論を修得するために、実践栄養科学領域の教員による「実践栄養科学特講」を設置する。
5. 栄養科学分野におけるより高度な専門的な研究者として必要な知識や研究開発するための能力を『研究指導科目』で養成するために、「栄養科学特別研究Ⅱ」と「栄養科学特別演習Ⅱ」を設置する。
6. 研究課題を設定し、研究計画を立案、研究方法の展開、データ収集、データ解析などを行い、健康科学を探究する学術論文および博士論文の作成に取り組むために、「栄養科学特別研究Ⅱ」を設置する。
7. ゼミ形式により、各専門分野の最新の研究成果を掲載した学術論文を精読・理解して、博士論文の研究にふさわしいよりレベルの高い知識を修得する。また、研究成果発表方法や学術誌への原稿作成方法をより深く修得することを目的として、「栄養科学特別演習Ⅱ」を設置する。

## 進級・卒業要件及び設定科目

学部名	学科名	進級要件			卒業要件		
		要件	科目名	配当年次	要件	科目名	配当年次
経営学部	経営学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	日商簿記検定2級	簿記演習Ⅰ	3前
					ファイナンシャル・プランニング技能検定2級	ファイナンシャルプランニング演習	3後
					販売士検定2級	販売・経営管理演習	3後
					日経テスト430点	新聞で学ぶ経済Ⅲ	3前
	(アカデミックコース)	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	税理士試験1科目	簿記演習Ⅱ	1後
		日商簿記検定2級	簿記演習Ⅰ	1前	日商簿記検定1級		
					全経簿記能力検定上級		
	国際経営学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	TOEIC730点	英語実践演習	1前～2後
		TOEIC600点	英語実践演習	1前～2後			
	地域創造学部	公共政策学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	日経テスト430点 (ニュース時事能力検定2級)	新聞で学ぶ経済Ⅲ
実践経済学科		日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	日経テスト430点	新聞で学ぶ経済Ⅲ	3①
国際社会学部	国際社会学科	英語選択：TOEIC600点	英語実践演習	1前～3後	英語選択：TOEIC730点	英語実践演習	1前～3後
		中国語選択：中国語検定3級	中国語	1前～3後	中国語選択：中国語検定2級	中国語	1前～3後
情報システム学部	情報システム学科	ITパスポート	情報技術演習	1前・後	基本情報技術者試験	情報システム演習	1・2前・後
	情報セキュリティ学科	ITパスポート	情報技術演習	1前・後	情報セキュリティマネジメント試験	情報セキュリティ演習	1・2前・後

## 卒業要件の早期取得に関する目標(学科別資格等取得状況)

※3年次に卒業要件を9割以上の学生に取得させるという達成水準のため、表中の数字は3年次生の達成状況です。

※平成29年度以前は対象学科の対象学年の学生が不在のため、情報はありません。

※複数の資格が要件となっている学科において、複数の資格を取得した場合でもいずれか1つに計上しています。(重複はありません)

経営学科	対象学生数	取得率	日経 TEST430点 以上	日商簿記 検定2級	販売士検 定2級	FP技能検 定2級
H30年度	138名	63.8%	39名	9名	37名	3名
H31年度	148名	76.4%	81名	11名	18名	3名

国際経営学科	対象学生数	取得率	TOEIC730点 以上
H30年度	51名	82.4%	42名
H31年度	66名	74.2%	49名

公共政策学科	対象学生数	取得率	日経 TEST430点 以上	ニューズ 時事能力 検定2級
H30年度	119名	73.9%	35名	53名
H31年度	119名	80.7%	26名	70名

実践経済学科	対象学生数	取得率	日経 TEST430点 以上
H30年度	132名	60.6%	80名
H31年度	137名	69.3%	95名

国際社会学科	対象学生数	取得率	TOEIC730点 以上	中国語検 定2級
H30年度 (英語選択者50名 中国語選択者3名)	53名	69.8%	34名	3名
H31年度 (英語選択者59名 中国語選択者5名)	64名	78.1%	45名	5名

情報システム学科	対象学生数	取得率	基本情報技術 者試験
H30年度	41名	43.9%	18名
H31年度	46名	41.3%	19名

情報セキュリティ学科	対象学生数	取得率	情報セキュリ ティマネジメ ント試験
H30年度	37名	83.8%	31名
H31年度	40名	82.5%	33名

## 資格取得等に係る高い目標の達成状況(第3期中期計画期間)

## ○経営学科

地元企業の発展につながる提案型の卒業論文の提出	対象者数 (4年次生)	該当者数
H31年度	138名	5名

※H29,30年度については対象学生が不在のためデータなし

資格等取得状況	対象者数	取得率	日経TEST500 点以上	日商簿記検 定1級	全経簿記能 力検定上級	販売士検 定1級
H29年度	141名	2.8%	4名	0名	0名	0名
H30年度	138名	5.8%	8名	0名	0名	0名
H31年度	138名	8.0%	11名	0名	0名	0名

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値

## ○国際経営学科

国際経営に関する英語でのディスカッションやディベートに参加できるレベルまで到達させる (4年次生)	達成率 (総合判断)	備考
H31年度	9割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネスコミュニケーション実践」において 成績平均75点</li> <li>・「海外ビジネス研修」において報告書を英語で作成 全員</li> <li>・「海外ビジネス研修」において英語での報告発表を実施 8割 (2割においては、受入先からの要望により日本語で発表を実施)</li> <li>・アメリカ領事館首席領事による講演会において、英語で質疑応答 (領事からも質・内容ともに高い評価を得た) 全員参加</li> <li>・ベトナム領事館領事による英語での講演会及び質疑応答 全員参加</li> </ul>

※H29,30年度については対象学生が不在のためデータなし

資格取得状況	対象者数	取得率	TOEIC860点 以上
H29年度	59名	5.1%	3名
H30年度	51名	5.9%	3名
H31年度	51名	5.9%	3名

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値

## ○公共政策学科

公的職場への進路を望む学生の公的職場への就職	対象者数 (4年次生のうち公的職場への就職を望む学生)	達成率	公的職場への就職者数
H31年度	67名	50.7%	34名

※H29,30年度については対象学生が不在のためデータなし

資格等取得状況	対象者数	取得率	日経TEST500 点以上	ニュース時事 能力検定1級
H29年度	127名	3.1%	4名	0名
H30年度	119名	5.9%	7名	0名
H31年度	119名	6.7%	8名	0名

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値



## ○実践経済学科

受入先企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける	対象者数 (3年次生のうち「企業インターンシップ」参加者)	達成率	高い評価を受けた学生数
H30年度	130名	31.5%	41名
H31年度	136名	40.4%	55名

※H29年度については対象学生が不在のためデータなし

資格等取得状況	対象者数	取得率	日経TEST500点以上
H29年度	133名	3.0%	4名
H30年度	132名	15.2%	20名
H31年度	132名	26.5%	35名

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値

## ○国際社会学科

資格取得状況	対象者数	取得率	TOEIC860点以上	中国語検定準1級
H29年度 (英語選択者58名 中国語選択者3名)	61名	1.6%	1名	0名
H30年度 (英語選択者50名 中国語選択者3名)	53名	1.9%	1名	0名
H31年度 (英語選択者50名 中国語選択者3名)	53名	5.7%	2名	1名

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値

## ○情報システム学科

資格取得・学会等発表状況	対象者数	達成者実績	情報処理技術者試験レベル3以上	CGクリエイター検定ベーシック	CGエンジニア検定ベーシック	映像コンテスト入賞	課題解決系ビジネスコンテストやアプリコンテスト入賞	学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表
H29年度	42名	2名	0名	0名	0名	1名	0名	1名
H30年度	41名	7名	1名	1名	1名	8名	2名	3名
H31年度	41名	8名	1名	1名	1名	7名	2名	4名

※達成者実績について、重複を除く。また、チームの場合は1チーム=1名とカウント。

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値

## ○情報セキュリティ学科

資格取得・学会等発表状況	対象者数	達成者実績	国際的なセキュリティ資格	国際的なネットワークベンダ資格	情報処理技術者試験レベル3以上	セキュリティキャンプ、CTF地方大会への参加	ACM-ICPC 国際大学対抗プログラミングコンテスト上位50%以内の成績	学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表
H29年度	42名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
H30年度	37名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	4名
H31年度	37名	13名	0名	0名	1名	0名	0名	12名

※達成者実績について、重複を除く。また、チームの場合は1チーム=1名とカウント。

※H29年度は2年次生、H30年度は3年次生、H31年度は4年次生の数値

## ○看護学科

看護師国家試験合格状況	対象者数	達成率	合格者数	国公立大学 平均合格率
H29年度	60名	98.3%	59名	99.4%
H30年度	57名	100.0%	57名	98.6%
H31年度	66名	97.0%	64名	98.3%

## ○栄養健康学科

管理栄養士国家試験合格状況	対象者数	達成率	合格者数	国公立大学 平均合格率
H29年度	40名	95.0%	38名	97.7%
H30年度	39名	97.4%	38名	96.9%
H31年度	38名	100.0%	38名	97.9%

# 長崎県立大学 大学院

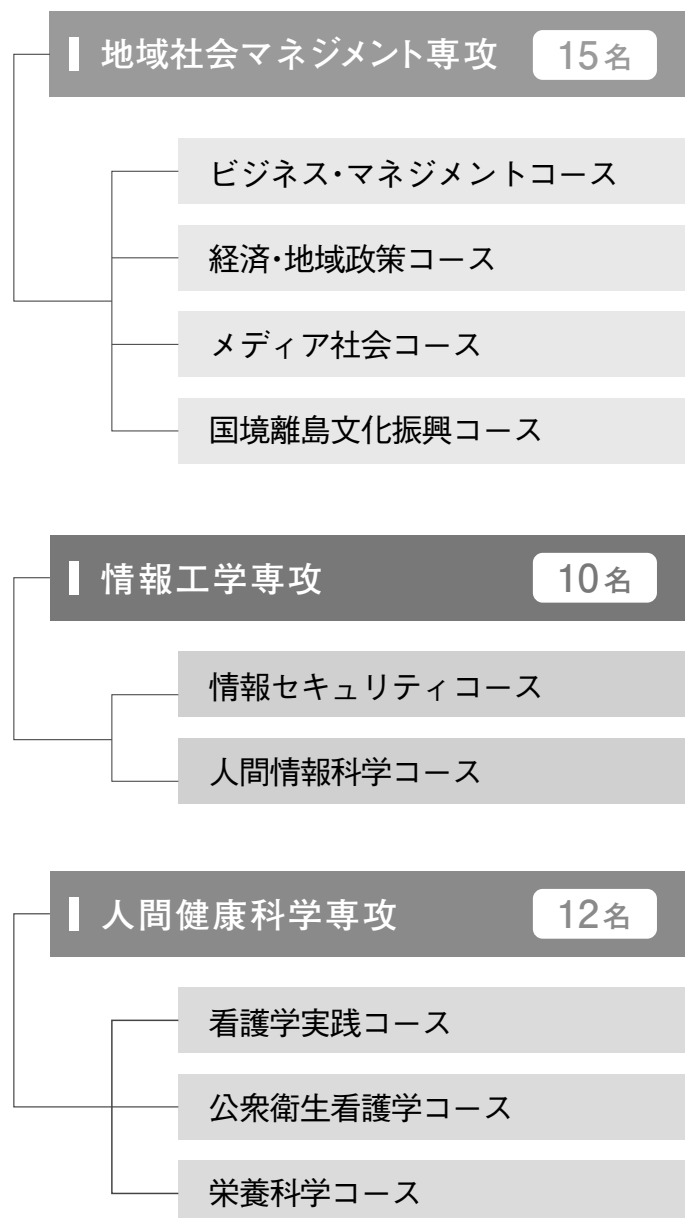
2020年4月新設

## 地域創生研究科

## 大学院の組織図

Organization chart

## 地域創生研究科(修士課程)【入学定員】



※公衆衛生看護学コースでは、教育課程の変更承認申請中であり、今後、カリキュラムを変更することがあります。

## 人間健康科学研究科(博士後期課程)【入学定員】

I 栄養科学専攻 3名

# 地域社会マネジメント専攻

Division Of Regional Management

- ◆ ビジネス・マネジメントコース
- ◆ 経済・地域政策コース
- ◆ メディア社会コース
- ◆ 国境離島文化振興コース

## 》こんな人を求めています。

- 経営学、経済学、マスメディア、社会学等の学びを深めたい人
- これまでの経験を理論化してさらに研鑽を深めたい現職者または退職者
- 税理士資格の取得を目指す社会人または学部生
- 海外進出、国内の新規市場創出、新製品開発等を考える経営者
- 地域資源の発掘と有効活用策について調査研究したい人
- 日本企業への就職や、日本で修士号を取得したいと考える留学生
- 国境離島の文化や経済振興に主体的に貢献したいという意欲のある人



## 》地域社会マネジメント専攻の特長

- より高度な経済分析能力が習得できる。
- 地域課題の原因や対象方法について専門的に理解することができる。
- メディア社会コースには、中国人の教員が在籍しているため、中国語と日本語で学ぶことができる。
- 国境離島の文化や経済振興に関する科目が充実している。

## message

専攻準備委員長メッセージ

「平成」の30年間、社会・経済は大きく変化しました。「少子高齢化」、すなわちマーケットの縮小と労働人口の減少、20世紀社会を支えた自動車に関わる変化、エンジン駆動からモーター駆動への変化と運転の自動化、また、「グローバリゼーション」の流れの一方で、「地域創生、活性化」等々、これまでの政策・経営のやり方が通用しないということになります。社会・経済は変化し続け、政府・自治体も企業もその変化に対応していく必要があるでしょう。「マネジメント(経営)」とは、変化する環境にいかに対応していくのか、をその内容としています。「地域社会マネジメント専攻」はグローバル化への適応と共に地域課題の解決、そして資源・エネルギー環境の変化や労働市場の変化等々に対応する必要性から創設されました。「ビジネス・マネジメントコース」では、環境適応＝マネジメントの研究を、「経済・地域政策コース」では、「市場」という適応すべき環境とその市場と協力して社会を維持させていく「行政」の研究、「メディア社会コース」では、マネジメントおよび行政において決定的に重要な「情報、コミュニケーション、メディア」の研究、そして「国境離島文化振興コース」では長崎県の特徴的環境である「離島」に関する研究を行います。多くの人々が新しい社会を創っていけるように手助けをしていきたいと考えています。



地域社会マネジメント  
専攻準備委員長

三戸 浩

# 情報工学専攻

Division Of Computer Science

◆ 情報セキュリティコース

◆ 人間情報科学コース

## 》こんな人を求めています。

- 情報セキュリティや人間情報科学に関わる問題を自ら発見し、解決する意欲・情熱を持つ人
- 専門分野の変化や革新に対して強い関心を持つ人
- 情報工学を理解するために必要な数学、理科の知識を深めたい人
- 情報科学・認知科学・デザイン学等の複合分野とその周辺分野に関心を持つ人
- 高度な知識・技術を修得し、人材不足といわれる情報セキュリティベンダなど、または、コンテンツ産業などの情報産業関連企業等へ就職を目指す人



## 》情報工学専攻の特長

- 計算機科学、通信工学、サイバー攻撃の系統的追究、情報セキュリティリスクマネジメント、ソフトウェア工学、空間情報工学、実世界情報処理、ヒューマンインターフェース等に亘る多彩な研究領域
- 国内初の情報セキュリティ学科での学びをさらに深める高度なカリキュラム
- CGや映像、サウンド等の各種メディアを駆使し、情報をデザインする人間情報科学コースのカリキュラム
- 課題設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養する研究指導



## message

専攻準備委員長メッセージ

「計算と通信、また、人間と機械の営みで作れる、実世界と仮想世界を融合させた未来社会はどんなものか？」情報工学専攻ではこんなことに思いを巡らします。皆様は、あらゆるものに計算・通信装置を埋め込むIoTや環境センシングの技術、膨大なデータを処理するビッグデータ処理や人工知能（AI）の技術、バーチャルリアリティや実世界コンピューティング、ドローンや自動運転といった技術、ネットワークを流れクラウドに保存されるデータに対する強固なセキュリティ技術等について耳にしたことがおありでしょうか。また、未来社会の設計指針を立てるためには人間理解こそが重要であるとも考えたことがおありではないでしょうか。

これらのことを学術の視点から探求する場が情報工学専攻です。この専攻に、情報セキュリティコース、及び人間情報科学コースの2コースを設置します。情報セキュリティコースでは、暗号理論、データセキュリティ、セキュアな情報システムの運用、ネットワークの状況把握や攻撃検知、またリスクマネジメントといった講義科目を揃えます。人間情報科学コースでは、情報処理システムとしての人間理解、実世界のデジタルモデリング、デジタル情報処理、デジタルおよび物理レンダリングまでをカバーする講義科目を揃えます。この2コース各々から講義科目を選択し履修することも可能です。



情報工学専攻  
準備委員長

穴田 啓晃

# 人間健康科学専攻

Division Of Human Health Science

◆ 看護学実践コース ◆ 公衆衛生看護学コース ◆ 栄養科学コース

## 》こんな人を求めています。

- 高度の専門知識や技術を修得したスペシャリストを目指す人
- 専門分野の修士号の取得を目指す現職の看護師や管理栄養士
- 保健師になることを希望し保健師国家試験の受験資格を得たい人
- 栄養科学の博士課程への進学を希望する人
- 高等教育機関での教育研究者を目指す人



## 》人間健康科学専攻の特長

- 社会学系の科目を取り入れており、経済や政策の情勢を学ぶことで知識の幅を広げることができる。
- 多くのOB・OGが病院、行政機関、高等教育機関、研究機関で教育研究者として勤務している。
- 公衆衛生看護学コースでは、講義・演習・実習を通して実践力を獲得し、様々な機関で充実した臨地実習を体験することができる。
- 公衆衛生看護学コースでは、保健師国家試験の受験資格だけでなく、養護教諭二種免許状、第一種衛生管理者免許の資格が取得できる。  
※保健師免許取得後、申請が必要です。



## message

専攻準備委員長メッセージ

本専攻では、保健・医療・福祉に関する領域における課題解決のための高度な専門的知識や技術を創造する研究者および高度専門職業人を育成することを教育目標としています。本専攻の前身である人間健康科学研究科では、既に多くの高度専門職業人の育成実績があり、多数の修了生が長崎県のみならず全国の病院、行政機関、高等教育機関、研究機関で活躍しています。また、栄養科学専攻博士後期課程に進学し博士(栄養科学)の学位を取得するといったより高度な学位の取得を目指すことも可能です。さらに本専攻教員は、日本学術振興会をはじめ多くの外部資金を導入し、様々な事業との連携を行っており、産学官連携事業や地域貢献事業に参画する機会も多くあります。

看護学実践コース、公衆衛生看護学コース、栄養科学コースそれぞれに、各専門分野における知識、経験、研究実績が豊富な専任教員を配置しており、各コースの連携によって、昨今の保健および医療現場で見られる複雑多岐にわたる諸問題に柔軟かつ適切に対応でき、質の高い高度な知識や技術を持った専門的職業人、研究者、指導者を育成し、社会に貢献することを目指しています。



人間健康科学専攻  
準備委員長

大塚 一徳

## 入学者選抜

- ◆ 出願期間：2019年7月22日(月)～8月2日(金)  
※出願はインターネット出願で受け付けます。
- ◆ 試験日程：2019年8月25日(日)
- ◆ 合格発表：2019年8月30日(金)

## 出願にあたっての事前面談

全ての志願者は、出願前に志望分野の担当教員との事前面談(メールを含む)を行う必要があります。

- ◆ 事前面談期間：2019年6月24(月)～8月2日(金)

※詳細については、公式ホームページに掲載している学生募集要項で確認してください。

## 出願要件

- ①学士の学位を有する者、または大学を卒業した者(卒業見込みを含む)
- ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(卒業見込みを含む)
- ③文部科学大臣の定めるところにより、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ④本学大学院の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※公衆衛生看護学コースにおいては、上記の出願要件のほか、日本の看護師免許を有する者(取得見込みを含む)とします。

## 選抜区分と試験内容

専攻/コース	一般選抜			社会人特別選抜			外国人留学生特別選抜			
	専門	英語	面接	専門	英語	面接	専門	英語	面接	
地域社会マネジメント専攻	ビジネス・マネジメント	○	○ ※1	○			○	○	○	
	経済・地域政策	○	○ ※1	○			○	○	○	
	メディア社会	○		○			○	○	○	
	国境離島文化振興	○		○			○	○	○	
情報工学専攻	情報セキュリティ	○	○	○			○		○	
	人間情報科学	○	○	○			○		○	
人間健康科学専攻	看護学実践	○	○ ※1	○	○	○ ※1	○			
	公衆衛生看護学	○	○ ※1	○	○	○ ※1	○			
	栄養科学	○	○ ※1	○	○	○ ※1	○	○	○ ※1	○

※1 英語の試験は、外部試験のスコアによって免除することができます。英語(該当区分のみ)の試験は、辞書持ち込み可です。



## 授業料

(円)

在籍形態	1年目		2年目		3年目		4年目		総額
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
標準(2年)	267,900	267,900	267,900	267,900	—	—	—	—	1,071,600
長期履修(3年)	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	—	—	
長期履修(4年)	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	

※授業料の金額は、現行の規定によるもので、変更になることがあります。

## 奨学金

日本学生支援機構奨学金：貸与月額（令和元年度実績）

区分	第一種（無利子）	第二種（有利子）
修士課程	50,000円 または 88,000円	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円 のいずれか

※上記以外にも地方公共団体、財団法人などの奨学金制度があります。

## 修了要件

大学院に2年以上在籍し、所定の単位（32単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文等の研究成果の審査に合格すること。

ただし、公衆衛生看護学コースにおいて保健師国家試験受験資格の取得を希望する者は、大学院に2年以上在籍し、所定の単位（60単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究成果の審査に合格すること。

## 社会人学生等への配慮

### 長期履修学生制度

標準修業年限（2年）を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。納付する授業料の総額は標準修業年限で履修する学生と同額です。また、在学中の期間変更等も柔軟に対応します。

### 昼夜開講制度

夜間等に履修できるよう配慮します。志望する教員との事前面談の際にご相談ください。

※公衆衛生看護学コースは対象外

## お問い合わせについて

専攻・コースにより問い合わせ先が異なります。

専攻	コース	キャンパス
地域社会マネジメント専攻	ビジネス・マネジメントコース	佐世保校
	経済・地域政策コース	佐世保校
	メディア社会コース	シーボルト校
	国境離島文化振興コース	シーボルト校
情報工学専攻	情報セキュリティコース	シーボルト校
	人間情報科学コース	シーボルト校
人間健康科学専攻	看護学実践コース	シーボルト校
	公衆衛生看護学コース	シーボルト校
	栄養科学コース	シーボルト校

※国境離島文化振興コースは、担当教員によりキャンパスが異なります。

## お問い合わせ先

佐世保校

学生支援課学生グループ

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123 TEL 0956-47-5703

シーボルト校

学生支援課学生グループ

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1 TEL 095-813-5065

## 入試情報等の詳細

学生募集要項等、入試情報の詳細は  
本学ホームページにてご確認ください。

<http://sun.ac.jp/examination/graduate/>



## ループリック評価

レポート評価のためのループリック

氏名 \_\_\_\_\_

	優れています (2)	もう少しです (1)	改善が必要です (0)
自分の主張とその根拠の説明	主張が明確で、その根拠づけに説得力がある。	主張があまり明確ではない。または、主張の根拠づけに不十分な点がある。	主張がない。または主張の根拠づけがないか、不適切である。
構成の明快さ	段落や全体の構成が、内容や論理にしたがって明快になされている。	段落や全体の構成がある程度できているが、なお不十分な点がある。	段落や全体の構成に一貫性がなく、不明瞭である。
文章の体裁	綴り、句読点、文法、段落の設定に目立った間違いが全くない。	綴り、句読点、文法、段落の設定に目立った間違いが少ない。	綴り、句読点、文法、段落の設定に目立った間違いが多い。
文中および引用文献欄での引用文献の書き方	文中の引用や引用文献欄の書き方に誤りがない。	文中の引用や引用文献の書き方に正しくない箇所がある。	文中の引用や引用文献欄の記載がない。
【コメント】			

## プレゼン評価のためのルーブリック

氏名 \_\_\_\_\_

	優れています (2)	もう少しです (1)	改善が必要です (0)
声 量	教室全体に声が届いており、最初から最後まで、内容がよく聞き取れる。	教室全体に声が届いているが、時々、内容が聞き取れないことがある。	発表全体を通して、教室全体に声が届かず、端では内容が良く聞き取れない。
視 線	発表全体を通して、聴衆を見ている。	発表中に、聴衆を見ていないことがある。	発表全体を通して、聴衆を見ていないことが多い。
内 容	わかりやすい順序で内容が構成されており、聞き手が理解しやすい。ポイントも強調されている。	内容の順序については、改善の余地が若干あり、聞き手が理解しにくい部分がある。ポイントもやや不明瞭である。	わかりやすい順序で内容が構成されておらず、聞き手が理解に苦しむ。ポイントが不明瞭である。
熱 意	やる気、人を動かす熱意も十分表現されている。	やる気がないわけではないが、熱意が表現されていない。	やる気が表現されておらず、表面的に発表をこなしているように見える。
質疑応答	質問を正確に理解しており、応答が的を射ている。応答は誠意あるものになっており、やり取りが建設的である。	質問をある程度把握している様子であるが、応答が的を射ていない。応答は誠意あるものになっており、やり取りが建設的である。	質問を正確に理解していないために、応答が的を射ていない。応答に誠意が感じられない。
発表時間	発表時間は、規定時間内であり、ぎりぎりまで有効に時間を使っていた。	発表時間は、規定時間内であったが、若干早くもしくは超過して終了した。	発表時間は、規定時間を過ぎた。もしくは大幅に早く終了した。
グループワーク (必要に応じて使用)	メンバー間のコミュニケーションが十分に取れており、協力して発表を進めているように見える。	メンバー間でのコミュニケーションや協力体制はある程度とれているが、熱意が感じられないメンバーがいる。	メンバー間でのコミュニケーションが取れておらず、一人に任せきりになっている。もしくは一人が勝手に発表を進めているように見える。
【コメント】			

## 公共政策実習・公共機関インターン自己評価ルーブリック

公共政策実習・公共機関インターンの事前・事後の自己評価ルーブリック（自己評価フォーム）です。

- ◆自己評価ですので、回答内容は成績に影響しません。ありのままに回答してください。
- ◆入力した回答結果は、下の「メールアドレス」宛に送信されます。必ず大学メールのアドレスを入力してください。
- ◆回答後、メールで送信された自分の回答結果を印刷し、ふりかえりに活用してください。
- ◆送信された回答は、個人が特定されないかたちで実習・インターンの教育効果の検証に活用される予定です。

\*必須

メールアドレス \*

メールアドレス

学籍番号の数字6桁を入力してください。（例 BR117999の場合：117999と入力）

\*

回答を入力

氏名を入力してください。 \*

回答を入力

公共政策実習履修者は「実習テーマ」を、公共機関インターン履修者は「自治体名（受入先名）・部署」を記入してください。 \*

回答を入力

自己評価のタイミング（事前・事後）を選択してください（※今回は全員、事後評価を選択してください）。\*

- 実習・インターンの事前評価
- 実習・インターンの事後評価

回答日（今日の日付）を選択してください。\*

日付

年 / 月 / 日

#### ■自己評価項目

以下の評価の観点《1》～《5》について、①・②・③の能力がそれぞれの程度備わっているかという観点から、A～Eのいずれかを選択してください。さらに、5項目をふまえた総合的な自己評価（A～E）を選択してください。

- A：①～③がすべて十分に備わっている
- B：①～③がすべて備わっているが、改善の余地がある
- C：①～③のうち2つが備わっている
- D：①～③のうち1つが備わっている
- E：①～③のいずれも十分に備わっていない

## 評価の観点\*

	A	B	C	D	E
<p>《1》社会人基礎力：①挨拶ができる。②自ら踏み出すことができる。③服装や言葉遣い等のマナーが身についている。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>《2》適応力：①周囲を見ることができる。②協調することができる。③報告・連絡・相談ができる。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>《3》コミュニケーション力：①円滑な意思疎通と応対ができる。②他者を受容できる。③自らを主張することができる。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>《4》考える力：①判断力がある。②課題を分析する力がある。③実行力がある。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>《5》地域と公共性の理解：①地域を理解する関心と能力がある。②社会のために活動する責任感がある。③コンプライアンスを理解し、倫理的判断ができる。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>上記をふまえた総合的な自己評価（A～E）</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**■それぞれの評価の観点についての自己評価（記述）**

評価の観点《1》～《5》について、努力を要する点、身についた力などを具体的に記述してください。

《1》社会人基礎力（①挨拶ができる。②自ら踏み出すことができる。③服装や言葉遣い等のマナーが身についている。）の自己評価（記述）

回答を入力

《2》適応力（①周囲を見ることが出来る。②協調することが出来る。③報告・連絡・相談ができる。）の自己評価（記述）

回答を入力

《3》コミュニケーション力（①円滑な意思疎通と対応ができる。②他者を受容できる。③自らを主張することができる。）の自己評価（記述）

回答を入力

《4》考える力（①判断力がある。②課題を分析する力がある。③実行力がある。）の自己評価（記述）

回答を入力

《5》地域と公共性の理解（①地域を理解する関心と能力がある。②社会のために活動する責任感がある。③コンプライアンスを理解し、倫理的判断ができる。）の自己評価（記述）

回答を入力

総合的な自己評価（記述）

今回のインターン・実習の反省点（良かったところ・改善点の両方）を書いてください。※100字以上\*

回答を入力



## R1年度 FD研修会実施一覧

## 全学FD研修会

開催地	開催日	参加人数	テーマ	概要
夏FD 佐世保校	9/26	126名 教員 122名 法人役員4名	「初年次教育、授業評価、学生調査結果の振り返り～教育課程の再構築に向けて～」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教養セミナーの振り返り</li> <li>●振り返りの視点に基づくワークショップ</li> <li>●H30年度授業評価結果、学生調査結果</li> <li>●評価及び調査結果の発表、各学科での振り返り</li> <li>●意見交換会(茶話会)</li> </ul>
秋FD シーボルト校【主会場】 (佐世保校は遠隔システムにより配信)	11/29	110名 教員 108名 法人役員2名	「進心高大接続改革: 大学教育をどう変えるか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●独立行政法人大学入試センター試験・研究副統括官 山地弘起先生によるご講演において、高大接続改革のねらいと課題を理解するとともに、入試改革の現況を共有した。</li> <li>●県内高校の聞き取り調査結果報告では、学部学科再編後の県内高校の本学に対する捉え方を理解し、そこから本学の教学課題を整理することができた。</li> </ul>
冬FD オンデマンド開催	3/17	85名 教員 85名	「授業改善を考える意見交換会・教養セミナーについての勉強会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1部:「授業上の工夫」の資料から授業改善を考えるオンデマンド検討会</li> <li>●第2部:教養セミナーに関する勉強会とオンライン意見交換※任意参加</li> </ul>

## 学部FD研修会

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
経営学部	12/3	22名 (経営学科7名、国際経営学科10名、その他5名)	「法と判例に学ぶ”パワハラ・セクハラ”組織から加害者を出さないためのハラスメント研修」	ハラスメントの知識を深め、その加害者にならないために、パワハラ・セクハラ・アカハラに関する事例を学んだ。
地域創造学部	7/23	30名 (公共政策学科16名、実践経済学科13名、学長)	「北九大・地域創生学群の成果と課題」	北九州市立大学地域創生学群がここまで実施してきたことの成果と課題について話を伺い、今後の本学の教育課程の見直しに役立てる。
国際社会学部	12/10	19名	国際社会学部における卒業論文発表会のグランドデザイン	<p>学部学科再編後、国際社会学部国際社会学科としての初めての卒業論文発表会を開催するにあたって、本学科における「卒業発表会」をいかなる趣旨の行事とすべきか、学科教員で自由に意見交換を行い、卒業発表会が、発表する学生のため、今後卒業制作を行う下級生のため、ひいては学科の発展のために、実り多いイベントとなることを目指して「卒業発表会のグランドデザイン」に取り組んだ。</p> <p>その結果、発表会は卒業論文の審査・評価とは独立し、卒業制作の趣旨・意義・成果を公表する場とすること。原則として公開であり、積極的に広報するわけではないが、外部からの聴衆は歓迎すること、本学科における学問分野の多様性や自由を尊重するため、発表の内容・形式・服装などに制限を設けないこと。ただし、発表時間の厳守や概要資料の事前提出を徹底すること、卒業生の努力を称え、下級生の意欲を喚起するコメントを奨励すること、などを確認した。</p> <p>さらに、卒業発表会実施後の2月教授会後に、発表会の振り返りのFDを開催することを決定した。</p>
情報システム学部	11/12	16名 (情報システム学科9名 情報セキュリティ学科7名)	「科目ナンバーの周知と活用について」	<p>科目ナンバーの周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 教養セミナーにおいて科目ナンバーの存在、読み方の周知を行っている</li> <li>* シラバスに科目ナンバーが表示されないため、学生への周知は困難である。オンラインシラバスの改善を求める。</li> </ul> <p>科目ナンバーの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 科目ナンバーの最終決定がなされたのか否か伝達が無いため、活用できない。科目ナンバーを確定してもらいたい。</li> <li>* 科目ナンバーの学問分野コードが科研費細目に準拠しているため、教育内容と一致していない。科目ナンバーの付け方を変更するか、1科目に複数の科目ナンバーを割り当てられるようにしてほしい。</li> <li>* 科目ナンバーがユニークではないため、ナンバーとは呼べない。ユニークな番号を振るようにシステムを変更してほしい。</li> <li>* 特に情報科学系の場合、シラバスをツリー構造に並べることが困難であるため、科目ナンバー特にレベルコードを割り当てることが困難である。レベルコードの割り振り方法を再検討してほしい。</li> <li>* 科目ナンバーによる履修制約が将来実施されると、学生にとって不利益であるため、反対する。</li> <li>* 科目ナンバーという方式が時代遅れであり、実態にそぐわない。講義のレコメンデーション方式があれば活用したい。</li> <li>* 成績証明書に印刷すれば活用になる。成績証明書で対応してもらいたい。</li> </ul>
看護栄養学部	5/21	34名	「初年次教育の最新動向と本学の初年次教育改革」	昨年度より全学的に初年次教育の改革が教育開発センターを中心に進められ、全学教育科目の「教養セミナー」の内容及び評価方法が全学的に統一されている。そこで本FDでは本学における初年次教育の改革と推進についての講演と質疑応答を行った。

## 学科FD研修会

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
経営学科	6/4	14名	「リテールマーケティング検定とその指導法」	経営学科の卒業要件として有力な手段である「販売士2級」について、専門外の教員は詳細な情報を有していない。本研修では、販売士検定に詳しく多くのゼミ生を合格させている齋藤先生に、販売士検定の詳細とその効果的指導法をご説明いただいた。
国際経営学科	4/3	16名	「初年次教育のあり方について」	初年次教育の在り方について、橋本センター長より概要説明がなされた。その後、教員間で初年次教育の必要性やその効果の上げ方などについて検討した。さらには元高校教員の特任教授より大学教育に求めることなどについて高校の立場から説明がなされた。このような説明などのうち、初年次教育の重要性を教員間で再確認し、本学の学びにおける学生の満足度を高め、他方では社会から求められる人材に育成するための教育の在り方などについて今後も検討を重ねていくこととした。
	7/26	7名 (学生35名)	「アジアで働く人材から考える、これから求められる人材像とキャリアパス」	NECビジネスイノベーション企画本部の森本雅之氏を講師として招聘。約1時間程度、国際経営学科の学生(主に3年生 約35人程度参加)に対して題目を御講義いただいた。今回は、初めてFD研修会に学生も教員とともに参加する形をとった。その狙いは、講師の森本氏が昨年までシンガポールのNECAPACに赴任されており、本学の海外ビジネス研修においても座学を約3年にわたってご担当していただくなど、本学の海外ビジネス研修について事情を周知されており、そのうえで、国際経営学科の学生が将来グローバル人材として活躍するために必要なことは何か、また、その能力を育てるためにどのような教育が必要かという事についてのご意見を伺いながら、学生は自らがそのような人材になるには何が必要かなどを考え、教員はどのような教育を実践することが必要かなどについて意見を交わすことであった。講師の話の後、講師と学生、講師と教員との3者間で質疑応答・意見交換をおこなった。英語教育だけでなく、専門性を高めることが学生自身の市場価値を高めるということを改めて教員が認識することができた。このことは研修会の目的を十分に達成したと考えることができよう。
公共政策学科	1/14	14人 (公共13名、職員1名)	実践科目について	公共政策実習、公共インターンのふりかえり、教育課程の見直しの検討
実践経済学科	6/3	11名 (実践9名、 教育開発センター及び職員 2名、企業インターンシップ 受入企業担当者40名)	「長期インターンシップ受け入れプログラム作成・実施上の留意点」	実践経済学科3年生必修科目「企業インターンシップ」に関し、受入側の企業ご担当者もお招きして、同一企業で1ヶ月連続という、類例のない形式の下で、学生・企業双方にメリットがあるような研修プログラムの作成に際する留意点をお話いただいた。その際、小グループに分かれて、企業ご担当者と教員が意見交換を行い、グループから出された具体的問題意識や疑問が取り上げられた。
情報システム学科	11/26	10名	令和2年度のクォータ制の導入に向けてのカリキュラム編成	前期後期制の下で配置されていた各授業をクォーター制の下で配置することとなり、授業配置の自由度が上がったことから、各授業の具体的な配置について検討を行った。具体的には、前期後期制のカリキュラムツリーを基に、授業内容の繋がりがクォーターごとの授業数の偏り等を考慮して、学生の学びを促進するような授業配置を決定した。
情報セキュリティ学科	①4/23 ②5/28 ③6/24 ④7/16 ⑤10/15	各9名	教育課程改編	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1回目(4/23)・ネットワーク設計演習について 内容は異なるものにしたいため、セキュリティ学科とシステム学科で科目名を変更する案がある。</li> <li>・データ構造とアルゴリズムについては? セキュリティ学科とシステム学科のシラバスの調査が必要。</li> <li>●2回目(5/28)・情報処理演習1にセキュリティを追加するか、もしくは情報セキュリティ概論を全額共通科目にして、全学でセキュリティの要素を取り入れたい 1. セキュリティ基礎 2. セキュリティガバナンス 3. セキュリティマネジメント 4. ネットワークセキュリティ 5. システムセキュリティ 6. セキュア設計構築 7. セキュリティ運用 8. 暗号認証署名 9. サイバー攻撃 11、12. デジタルフォレンジック、捜査 14. 法制度15. 関連領域 今後の課題 必要性・充分性の検証</li> <li>●3回目(6/24)コンピュータアーキテクチャ → クォーター制にして後半に回路を組む演習(コンピュータアーキテクチャ演習)、非常勤で対応。プログラミングは早い時期が良い。情報社会と倫理に関する講義 → eラーニング。セキュリティ概論 → オムニバスにできないか?(クォーター制)。セキュアデータベース運用演習 → ソムチャイ先生にお願いできないか。セキュアプログラミング技法は廃止にする? プログラミングはPythonから始めるのはどうか? 基礎演習はPython 応用演習はC言語(必修)オブジェクト指向はJAVA ネットワークプログラミング演習(演習でも良い?) → コンパイラにする? 2年後期 or 3年前期 その前に形式言語の授業が欲しい。ソフトウェア工学 → 演習は?(他大学の事例は?)。開発手法(アジャイル開発など)のお話 3年生くらいで(山口先生)</li> <li>●4回目(7/16)学部共通科目の学科分担 多変量解析(有田先生)を学部共通とする案 オペレーティングシステム演習(青木先生)はlinuxを扱っていて、セキュリティ学科は別の科目(UNIX運用実験で代用)</li> <li>クォーター制について・資料はprof.secのカリキュラム検討・システム学科との調整が必要な部分について小松先生までコメントください。セキュアデータベース運用演習 → データベースセキュリティ演習(変更)・平岡先生のWebシステム設計論とwebプログラミング演習は、(新)Web構築論1、2で代用できる。暗号応用技術は穴田先生・松崎先生で担当。データセキュリティ概論 → データセキュリティ技術・3年のIQに各先生の専門を入れたい。加藤先生の科目については検討が必要</li> <li>●5回目(10/15)データベース演習について(平岡先生とソムチャイ先生の議論)・ソムチャイ先生の科目は来年度は平岡先生がご担当?(調整中)・ネットワーク演習について(調整中)・平岡先生がデータベース演習を担当されるなら、ソムチャイ先生がネットワーク演習を担当するようになる?・線形代数(永野先生)はセキュリティ学科専門科目・数学、統計、統計演習、情報数学は毎年2名が担当→数学の担当は永野先生、線形代数を2名で担当(線形代数は商学科の学生に受講させたいため)・情報理論は吉田先生・データサイエンス、線形代数応用は学科専門科目として運用する方向・コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステムは非常勤・ネットワーク・サーバー設計演習(旧ネットワーク設計演習)科目名変更は後で、コンパイラは学部共通でもOK・プログラミング科目は要検討?・情報セキュリティ基礎をenPIT単位互換科目として設定したい。客員教授の竹田先生の任期について(マネジメント系科目)・暗号応用技術は3名で担当、暗号数理は?(穴田先生の科目数が多くなる)・不正アクセス技法 → 脆弱性検査技法・フォレンジックはインシデント対応演習で扱う。データベースセキュリティ演習 → データベースセキュリティ・来年度はデータベースセキュリティ演習担当は松崎先生、来年度は学部共通は名称も内容もそのままで運用・線形代数などは入れずに再来年から運用が混乱がない</li> </ul>

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
看護学科	7/16	22名	災害看護	災害看護について、各領域での教授内容を知り、それぞれの特性、重点的健康問題等について学ぶことを目的として、学科FDを行った。 ① 災害看護の特殊性:担当 片穂野 ② 暮らしの中の救急法(災害の備えと心がまえ・災害医療とトリアージ):担当 立石 ③ 災害・紛争時におけるリプロダクティブ・ヘルス(ジェンダーと性暴力の視点から):担当 李 上記の内容についての発表が行われ、災害看護の特性について、各教員が知識を再確認し、深めたとともに、今後の教育展開法についての示唆を得ることができた。
栄養健康学科	(2020) 4/16	18名	Google classroomによるオンデマンド授業の進め方	(遠隔授業についてのFDを年度末に開催予定としていたが、大学としてのツールが決まったことを踏まえて4月実施となった。) 新型コロナウイルスの感染拡大への対応のため、大学の授業をオンデマンドで実施することになった。大学としてGoogle classroomがツールとして推奨され、教員が円滑に授業ができるようにするために、または学生からどのように見えているのか等を栄養健康学科の教員が参加できるクラスが講師によって作成され、そこで資料の配布、出席・課題のチェック方法や、レポートの提出方法について情報交換が行われた。

## 大学院FD研修会

開催地	開催月日	参加人数	テーマ	概要
経済学研究科	1/28	13名	「社会人大学院教育のあり方について」	北九州市立大学名誉教授の齋藤貞之氏を講師としてお招きし、社会人大学院教育のあり方について講習を受け、議論した。
国際情報学研究科	3/24	41名	修士課程に求められる教育の在り方	文部科学省高等教育局大学振興課資料より抜粋の資料「2040年度を見据えた大学院教育のあるべき姿～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策(審議まとめ)概要」を参考に、下記4つの視点から教員の認識、改善及び啓発が促された。(1)修士課程に求められる教育の在り方 (2)学位授与の在り方 (3)リカレント教育の充実 (4)人文・社会科学系大学院の課題とその在り方。
人間健康科学研究科	7/23	18名	「大学における利益相反マネジメント」	大学における利益相反の概念整理、利益相反の分類についておよび利益相反マネジメントが目指すものについて説明があった。また、利益相反アドバイザーによる事前相談の有効性が強調された。大学における利益相反マネジメントは、大学の誠実性や信頼性を守ることであり、生じた問題が大学の規則等に定められた利益相反問題とは言いにくい場合であっても、利益相反という概念を広い意味で捉えて大学の誠実性を確保することが重要であると説明された。

## やるばいプロジェクト

令和元年度（2019）採択プロジェクト	
 	<p><b>プロジェクト名</b> 音楽で地域活性化～より密着型の地域貢献を～</p> <p><b>構成メンバー</b> 経営学科（5名）、国際経営学科（1名）、公共政策学科（8名）、実践経済学科（5名）</p> <p><b>主な活動実績</b> 四ヶ町アーケードや障がい者支援施設、公民館等で演奏会を行った。演奏会では、季節にあわせた選曲で演奏を行い、好評を得た。</p> <p><b>概要</b> 私たちが開催する演奏会は地域の方々に聞いてくださることで成り立っています。より多くの方々に私たちの音楽を知ってもらうために、前年より多くの場所で演奏することを目指します。</p>
	<p><b>プロジェクト名</b> 沓岐ライスボール開発プロジェクト</p> <p><b>構成メンバー</b> 経営学科（3名）、公共政策学科（5名）、栄養健康学科（17名）</p> <p><b>主な活動実績</b> 現地協力者との話し合い</p> <p><b>概要</b> 沓岐市で生産される農作物等を使った新たな特産品（お土産）を作ることで、島の活性化の手助けをすることを目指すプロジェクト。</p>
	<p><b>プロジェクト名</b> 留学生との交歓会</p> <p><b>構成メンバー</b> 経営学科（1名）、公共政策学科（1名）</p> <p><b>主な活動実績</b> 日本人学生7名と中国人留学生4名で、平戸市の鄭成功記念館・平戸オランダ商館、佐世保市の森きらら、石岳展望台を訪れ、地域の歴史や文化、自然に触れながら、留学生と日本人学生の交流を図った。</p> <p><b>概要</b> 体験を通して英語と異文化を学び、かつ、地域の活性化を目指し、活動を行うことを目的としたプロジェクト。</p>
	<p><b>プロジェクト名</b> 最前線で活躍している、俳優部との映画制作を通して長崎の良さを再発信</p> <p><b>構成メンバー</b> 情報システム学科(11名)、国際社会学科(2名)</p> <p><b>主な活動実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• キャストオーディション</li> <li>• 長崎市内および長与町内での映画撮影</li> <li>• 広報活動（各メディアへのプレスリリース）</li> <li>• 長崎市、大学内での上映会</li> </ul> <p><b>概要</b> 映画制作を通して、長崎のロケーションの良さを発信し、長崎県内の若者による文化振興を活発にしていこうと目指したプロジェクト。</p>

就 職 状 況
---------

&lt;佐世保校&gt;

(単位:%)

	経営学部			地域創造学部			経済学部				計 (①~⑦)
	経営学科 ①	国際経営学科 ②	計(①+②)	公共政策学科 ③	実践経済学科 ④	計(③+④)	経済学科 ⑤	地域政策学科 ⑥	流通・経営学科 ⑦	計(⑤~⑦)	
31年度	98.3	97.5	98.1	99.0	100.0	99.5	92.3	100.0	100.0	96.9	98.8
30年度	/	/	/	/	/	/	99.3	100.0	99.2	99.5	99.5
29年度	/	/	/	/	/	/	97.8	98.4	96.8	97.7	97.7
28年度	/	/	/	/	/	/	100.0	97.1	98.5	98.4	98.4
27年度	/	/	/	/	/	/	97.5	96.7	96.2	96.8	96.8
26年度	/	/	/	/	/	/	95.6	97.1	96.9	96.5	96.5

## 就職状況

〈シーボルト校〉

(単位:%)

	国際社会学部	情報システム学部			看護栄養学部			国際情報学部			合計 (①~⑦)
	国際社会学科 ①	情報システム学 科 ②	情報セキュリティ学 科 ③	計(②+③)	看護学科 ④	栄養健康学科 ⑤	計 (④+⑤)	国際交流学科 ⑥	情報メディア 学科 ⑦	計 (⑥+⑦)	
31年度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0
30年度					100.0	100.0	100.0	97.3	98.4	97.8	98.6
29年度					100.0	100.0	100.0	98.6	96.8	97.7	98.9
28年度					100.0	100.0	100.0	95.9	100.0	97.6	98.6
27年度					100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
26年度					100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 令和元年度卒業生 主な内定先

## ☆経営学部

経営学科	白十字会、ジェッター、佐世保港湾運輸、佐々木冷菓、オリックス生命、トランスコスモス、十八親和銀行、黒崎播磨、エコ電子工業、東邦ホールディングス、セキスイハイム九州、カチタス、パロマ、日本郵便、トラストホールディングス、福岡財務支局、福岡国税局、岡山市役所、西海市役所
国際経営学科	ジャパネットホールディングス、ステートストリート信託銀行、神栄、ゼンショーホールディングス、ソラシドエア、安川ロジステック、SMBC日興証券、富士通ゼネラル、ネオキャリア、NTTコミュニケーションズグループ、日本航空、日本電気、日本年金機構、愛知県庁

## ☆地域創造学部

公共政策学科	長崎自動車、長崎新聞社、九州文化学園、谷川建設、ミライト・テクノロジーズ、ティーケーピー、KDDI、ルートイングループ、沖縄振興開発金融公庫、九州農政局、長崎地方法務局、福岡国税局、長崎労働局、九州経済産業局、長崎大学、警視庁、静岡県庁、福岡県庁、長崎県庁、長崎市役所、佐世保市役所
実践経済学科	長崎県信用保証協会、ペイロール、長崎キヤノン、ニーズウェル、西肥自動車、全国農業協同組合連合会、山九、九電工、テルモ、伯東、ヤマエ久野、肥後銀行、エレコム、住友生命保険、岡三証券、共栄火災海上保険、大分県庁、東京都特別区、佐賀県庁、広島市役所、長崎県庁、長崎市役所、長崎県警

## ☆国際社会学部

<b>国際社会学科</b>	オリックス生命保険、全国農業協同組合連合会長崎県本部、ディーエスブランド、長崎空港ビルディング、長崎県中小企業団体中央会、長崎倉庫、アドバンスクリエイト、ANA福岡空港、エイチ・アイ・エス、神鋼物流、スイスポーツジャパン、全日本空輸(ANA)、WBFリゾート沖縄、東洋信号通信社、PHCメディコムネットワークス、マツダロジスティクス、ワイジェイカード
---------------	---

## ☆情報システム学部

<b>情報システム学科</b>	ウェディング石川、扇精光コンサルタンツ、日本ビジネスソフト、アイオス、NTTデータMHIシステムズ、システナ、九電ビジネスソリューションズ、JR西日本ITソリューションズ、JIG-SAW、ソーシャルデータバンク、西日本映像、日立ソリューションズ西日本、富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ、富士通ビー・エス・シー、ムラタシステム、ユービーセキュア、長崎市
-----------------	---

<b>情報セキュリティ学科</b>	扇精光ソリューションズ、オフィスメーション、京セラコミュニケーションシステム、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、不動技研工業、ペイロール、菱計装、あずさ監査法人、インターネットイニシアティブ、NRIシステムテクノ、NRIデータテック、住友電装、日本電気、富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ、富士通エフサス、ラック、総務省九州総合通信局、長崎県警察、長崎市
-------------------	---

## ☆看護栄養学部

<b>看護学科</b>	諫早総合病院、佐世保中央病院、長崎医療センター、長崎原爆病院、長崎北病院、長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎リハビリテーション病院、長崎労災病院、九州中央病院、福岡大学病院、福岡赤十字病院、九州医療センター、熊本大学病院、鹿児島大学病院、大阪大学医学部附属病院、杏林大学医学部付属病院、国立国際医療研究センター、長崎県教育委員会
-------------	---

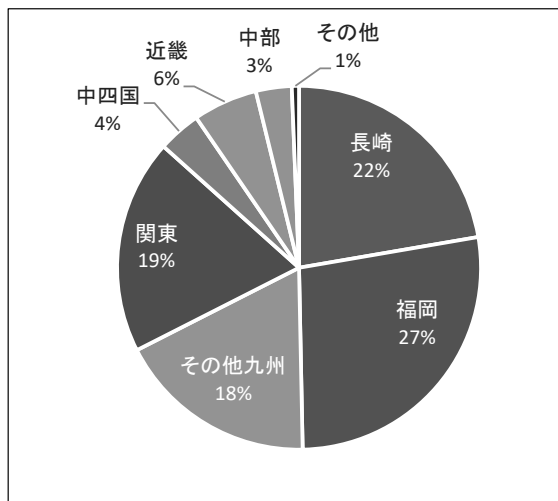
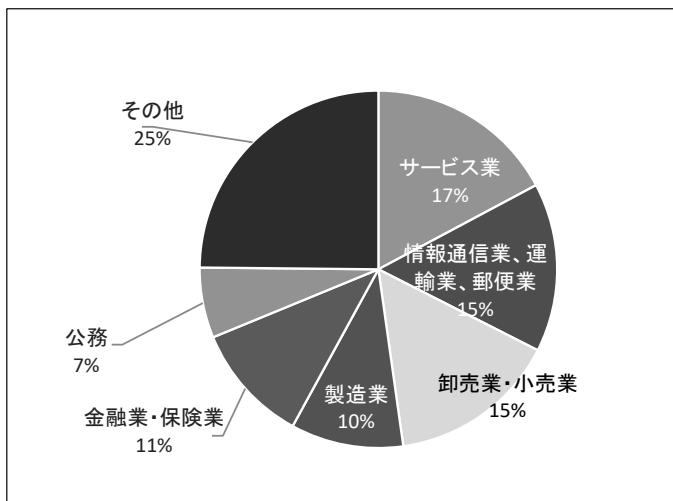
<b>栄養健康学科</b>	東ファーマシー、佐世保共済病院、大光食品、長崎空港ビルディング、ながさき内科・リウマチ科病院、ひぐちグループ、前田医院、八江農芸、友愛富士見町保育園、一富士フードサービス、エームサービス、大賀薬局、黒田こども園、倉敷中央病院、グリーンハウス、コスモス薬品、日清医療食品、日本ハムマーケティング、メフォス、ヤマダイ食品、さつま町役場
---------------	---



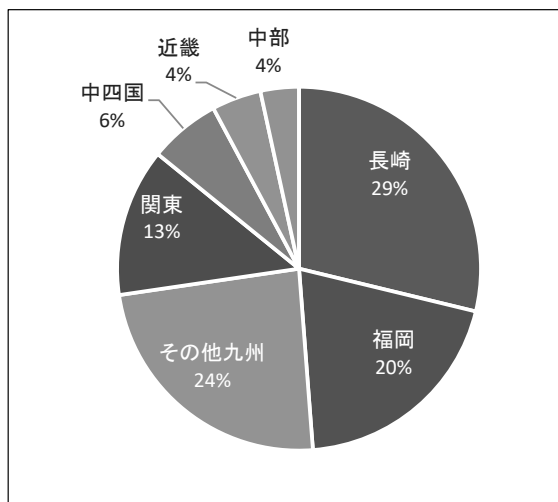
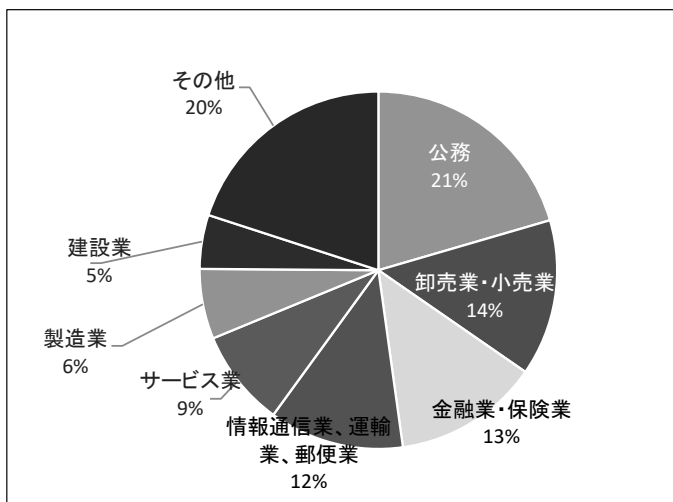
●業種別内定状況

●地域別内定状況

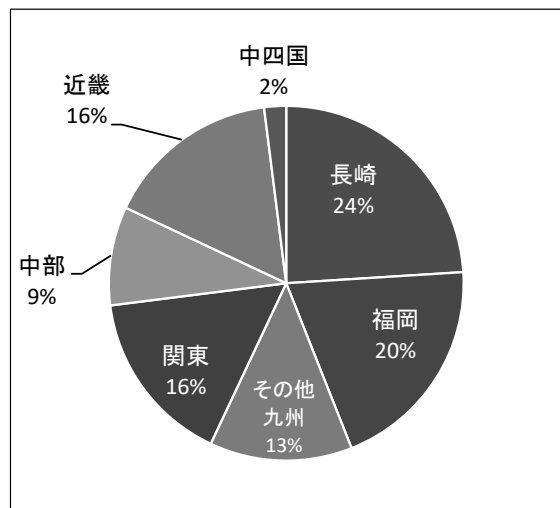
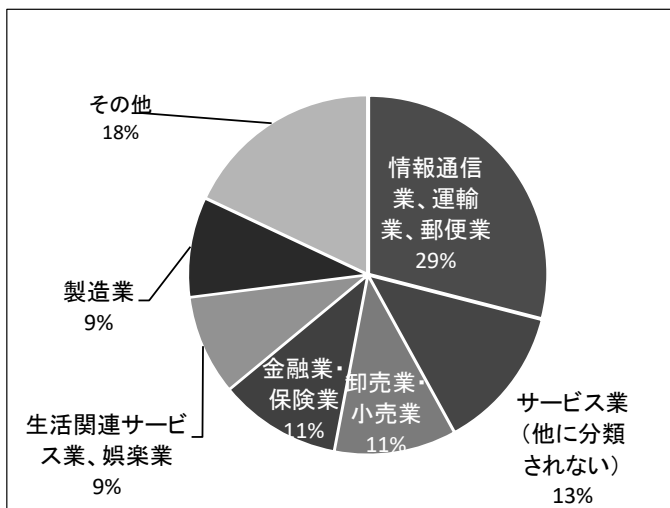
○経営学部



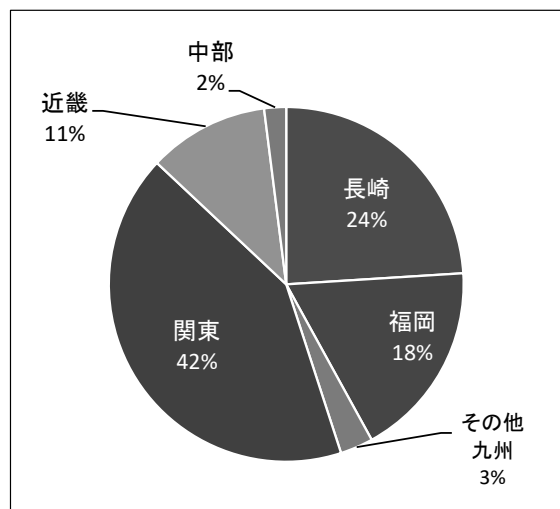
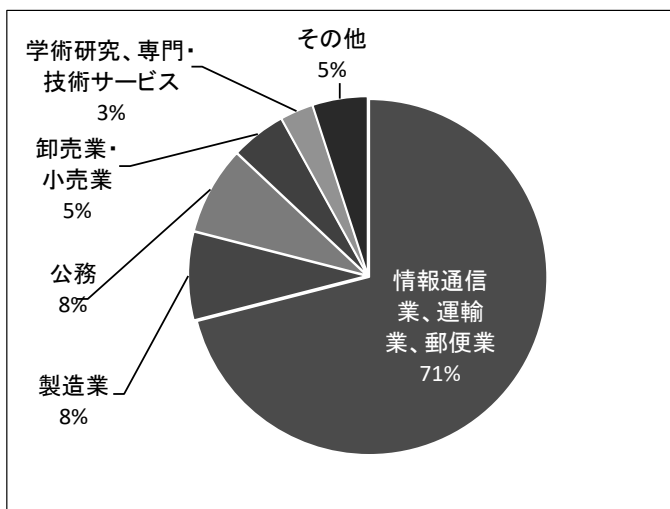
○地域創造学部



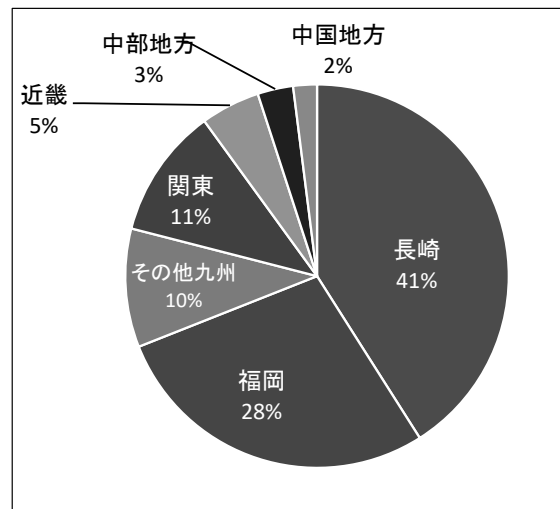
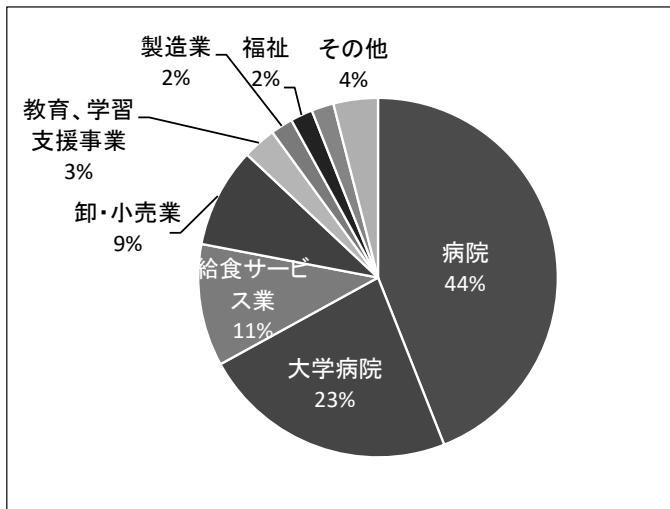
○国際社会学部



○情報システム学部



○看護栄養学部



## 学科・学部別 県内就職状況

	平成31年度				平成30年度			平成29年度		
	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率	対前年比	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率	就職者数 (人)	うち県内 就職者数 (人)	県内就職率
経営学部	158	35	22.2%							
経営学科	119	33	27.7%							
国際経営学科	39	2	5.1%							
地域創造学部	208	60	28.8%							
公共政策学科	97	27	27.8%							
実践経済学科	111	33	29.7%							
国際社会学部	45	11	24.4%							
国際社会学科										
情報システム学部	62	16	25.8%							
情報システム学科	30	4	13.3%							
情報セキュリティ学科	32	12	37.5%							
看護栄養学部	94	38	40.4%	2.1%	86	33	38.4%	91	48	52.7%
看護学科	61	28	45.9%	-5.1%	49	25	51.0%	54	37	68.5%
栄養健康学科	33	10	30.3%	8.7%	37	8	21.6%	37	11	29.7%
経済学部	31	11	35.5%		388	131	33.8%	374	104	27.8%
経済学科	12	7	58.3%		137	46	33.6%	134	31	23.1%
地域政策学科	6	0	0.0%		129	48	37.2%	120	39	32.5%
流通・経営学科	13	4	30.8%		122	37	30.3%	120	34	28.3%
国際情報学部	7	3	42.9%		133	45	33.8%	130	54	41.5%
国際交流学科	7	3	42.9%		73	18	24.7%	70	33	47.1%
情報メディア学科					60	27	45.0%	60	21	35.0%
大学総計	605	174	28.8%	-5.7%	607	209	34.4%	595	206	34.6%

※国際情報学部情報メディア学科について、平31成年に学科廃止の届出を行ったため、平成31年度の実績なし。  
 ※経営学部、地域創造学部、国際社会学部、情報システム学部について、前年度卒業生がいないため前年比の記載なし。  
 ※経済学部、国際情報学部について、4年間以上在籍した学生に係る就職実績のため、前年比の記載なし。

## 国際交流協定校一覧

	大学名		協定締結日	協定事業内容					
				学生交流 派遣・受入人数 期間	教職員 交流	共同 研究	シンポジウム等	刊行物等 の 交換	
	1	華僑大学	中国	1992年10月7日 (平成4年)	○ [計4名 規定なし]	○	○	○ [年1回 交互に 開催]	○
☆	2	ウィスコンシン大学オシュコシュ校	アメリカ	2001年9月28日 (平成13年)	○ [各2名 半年又は1年]	○	○		
	3	上海外国語大学	中国	2002年10月17日 (平成14年)	○ [各3名 半年又は1年]	○	○		
		上海外国語大学短期留学生プログラム協定		2011年6月30日 (平成23年)	○ [受入5名 派遣短期研修10名]				
	4	東亜大学校	韓国	2004年4月1日 (平成16年)	○ [各2名 半年又は1年]	○	○	○	○
	5	高麗大学校	韓国	2004年12月2日 (平成16年)	○ [各2名 半年又は1年]	○	○	○	○
		看護大学校		2006年2月9日 (平成18年)	○ [定期的な相互交流]	○	○	○	
☆	6	マカオ 澳門大学 社会人文学部	中国	2009年5月20日 (平成21年)	○ [計1~3名 規定なし]	個別に 協議			
	7	西安外国語大学	中国	2011年3月1日 (平成23年)	○ [各2名 1年以内]	○			
☆	8	タマサート大学	タイ	2012年10月30日 (平成24年)	○ [学部の規定による]	○	○	○	○
		ジャーナリズム・マスコミュニケーション学部		2013年3月18日 (平成25年)	○ [各5名 1年以内]	○	○	○	○
		看護学部		2014年3月24日 (平成26年)	○	○	○	○	
	9	湖北大学	中国	2013年3月1日 (平成25年)	○ [各5名 1年以内]		○		○
☆	10	エドモンズコミュニティカレッジ	アメリカ	2013年12月14日 (平成25年)	○ [各2名 半年]	○	○	○	
☆	11	ダナン大学(大学間交流協定)	ベトナム	2014年11月25日 (平成26年)	○ [別途覚書を締結]	○	○	○	○
		(学生交流に関する覚書)		2016年3月30日 (平成28年)	○ [各2名 1年以内]	○			
☆	12	フラットヘッドバリーコミュニティカレッジ	アメリカ	2019年1月10日 (平成31年)	○ [各2名 半年]	○	○		
☆	13	泰日工業大学	タイ	2020年3月27日 (令和2年)	○ [各5名 1年以内]	○			

※東亜大学・華僑大学と2011年締結した協定については6年毎に更新。それ以外の協定は5年毎に更新。

☆英語で留学可能な交流協定締結校

## 留学生の状況(平成31年度在籍者数実績)

○外国人留学生の受入状況(前年度以前からの継続者+平成31年度新規受入)

☆数値については、学生の国籍により計上

区分	佐世保校					シーボルト校							合計	
	中国	韓国	ベトナム	台湾	計	中国	韓国	米国	ベトナム	タイ	サウジ	計		
学部	交換留学生	6				6	15		4		5		24	30
	私費留学生	1		8	1	10	1			1			2	12
	計	7	0	8	1	16	16	0	4	1	5	0	26	42
大学院	交換留学生	3				3							0	3
	私費留学生	0				0	1						1	1
	計	3	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	4
研究生	学部					0						1	1	1
	大学院					0							0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
合計	交換留学生	9				9	15		4		5		24	33
	私費留学生	1		8	1	10	2			1			3	13
	研究生(国費)	0				0	0					1	1	1
	計	10	0	8	1	19	17	0	4	1	5	1	28	47

国別状況	中国	ベトナム	韓国	米国	台湾	タイ	サウジ(その他)	合計
(人)	27	9	0	4	1	5	1	47
(%)	57.4%	19.1%	0.0%	8.5%	2.1%	10.6%	2.1%	100.0%

※短期私費は協定に基づく受入れの為、交換に含む

○交換留学 派遣状況(平成30年度からの継続者+平成31年度新規派遣)

区分	佐世保校					シーボルト校					合計
	中国	韓国	米国	台湾他	計	中国	韓国	米国	タイ	計	
学部	4	1	1		6	3	1	3	3	10	16
大学院					0					0	0
合計	4	1	1	0	6	3	1	3	3	10	16

○英語で留学可能な協定締結校からの受入、派遣学生数

年度	H29	H30	H31
受入	9	7	9
派遣	6	7	8

# 入学志願者及び入学者数

## 年度別総計【学部】[令和2年度]

(単位：人、倍、%)

区 分		定 員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者	志願倍率 B/A	受験倍率 C/A	競争率 C/D	
経営学部	経営学科	A O	10	2	2	2	0.2	0.2	1.0	
		推 薦	45	66	66	45	45	1.5	1.5	1.5
		一般入試(前期)	70	303	265	117	80	4.3	3.8	2.3
		一般入試(後期)	15	181	56	31	21	12.1	3.7	1.8
		一般入試計	85	484	321	148	101	5.7	3.8	2.2
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	4	4	1	0	-	-	4.0
	小 計	140	556	393	196	148	4.0	2.8	2.0	
	国際経営学科	推 薦	20	24	24	14	14	1.2	1.2	1.7
		一般入試(前期)	30	152	138	49	38	5.1	4.6	2.8
		一般入試(後期)	10	150	35	16	8	15.0	3.5	2.2
		一般入試計	40	302	173	65	46	7.6	4.3	2.7
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		小 計	60	326	197	79	60	5.4	3.3	2.5
学 部 計	200	882	590	275	208	4.4	3.0	2.1		
地域創造学部	公共政策学科	推 薦	30	50	50	28	28	1.7	1.7	1.8
		一般入試(前期)	60	196	167	75	63	3.3	2.8	2.2
		一般入試(後期)	30	233	68	45	34	7.8	2.3	1.5
		一般入試計	90	429	235	120	97	4.8	2.6	2.0
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	1	1	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
	小 計	120	481	287	149	126	4.0	2.4	1.9	
	実践経済学科	推 薦	45	60	60	44	43	1.3	1.3	1.4
		一般入試(前期)	65	237	216	92	63	3.6	3.3	2.3
		一般入試(後期)	20	283	113	41	25	14.2	5.7	2.8
		一般入試計	85	520	329	133	88	6.1	3.9	2.5
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	小 計	130	580	389	177	131	4.5	3.0	2.2	
	学 部 計	250	1,061	676	326	257	4.2	2.7	2.1	
国際社会学部	国際社会学科	A O	5	2	2	2	2	0.4	0.4	1.0
		推 薦	19	29	29	22	22	1.5	1.5	1.3
		一般入試(前期)	30	106	100	38	26	3.5	3.3	2.6
		一般入試(後期)	6	129	36	18	13	21.5	6.0	2.0
		一般入試計	36	235	136	56	39	6.5	3.8	2.4
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
小 計	60	267	168	81	64	4.5	2.8	2.1		
情報システム学部	情報システム学科	推 薦	12	30	30	13	13	2.5	2.5	2.3
		一般入試(前期)	20	52	49	20	17	2.6	2.5	2.5
		一般入試(後期)	8	207	70	16	12	25.9	8.8	4.4
		一般入試計	28	259	119	36	29	9.3	4.3	3.3
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留学生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	小 計	40	289	149	49	42	7.2	3.7	3.0	
	情報セキュリティ学科	推 薦	12	24	24	12	12	2.0	2.0	2.0
		一般入試(前期)	20	55	51	21	20	2.8	2.6	2.4
		一般入試(後期)	8	268	89	18	13	33.5	11.1	4.9
		一般入試計	28	323	140	39	33	11.5	5.0	3.6
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
留学生		若干名	0	0	0	0	-	-	-	
小 計	40	347	164	51	45	8.7	4.1	3.2		
学 部 計	80	636	313	100	87	8.0	3.9	3.1		

区 分		定 員 A	志 願 者 B	受 験 者 C	合 格 者 D	入 学 者	志 願 倍 率 B/A	受 験 倍 率 C/A	競 争 率 C/D	
看護 栄 養 学 部	看護 学 科	推 薦	16	45	45	15	15	2.8	2.8	3.0
		一般入試(前期)	38	120	117	43	40	3.2	3.1	2.7
		一般入試(後期)	6	120	34	7	5	20.0	5.7	4.9
		一般入試計	44	240	151	50	45	5.5	3.4	3.0
		帰 国 子 女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社 会 人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		留 学 生	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	小 計	60	285	196	65	60	4.8	3.3	3.0	
	栄 養 健 康 学 科	推 薦	10	27	27	11	11	2.7	2.7	2.5
		一般入試(前期)	24	54	53	27	18	2.3	2.2	2.0
		一般入試(後期)	6	90	26	12	10	15.0	4.3	2.2
		一般入試計	30	144	79	39	28	4.8	2.6	2.0
		帰 国 子 女	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社 会 人	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
留 学 生		若干名	0	0	0	0	-	-	-	
小 計	40	172	107	51	40	4.3	2.7	2.1		
学 部 計		100	457	303	116	100	4.6	3.0	2.6	
A O 計		15	4	4	4	4	0.3	0.3	1.0	
推 薦 計		209	355	355	204	203	1.7	1.7	1.7	
一般入試(前期) 計		357	1,275	1,156	482	365	3.6	3.2	2.4	
一般入試(後期) 計		109	1,661	527	204	141	15.2	4.8	2.6	
一般入試 合計		466	2,936	1,683	686	506	6.3	3.6	2.5	
帰国子女 計		若干名	0	0	0	0	-	-	-	
社会人 計		若干名	2	2	1	1	-	-	-	
留学生 計		若干名	6	6	3	2	-	-	-	
合 計		690	3,303	2,050	898	716	4.8	3.0	2.3	

※A O入試の受験者数は2次選考受験者数

## 【 大学院 】

### 年度別総計【大学院】[令和2年度]

(単位：人、倍、%)

区 分		定 員 A	志 願 者 B	受 験 者 C	合 格 者 D	入 学 者	志 願 倍 率 B/A	受 験 倍 率 C/A	競 争 率 C/D	
地域 創 生 研 究 科	地域社会マネジメント専攻 (修士課程)	一般選抜	15	1	1	1	1	0.1	0.1	1.0
		推薦入試	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		社会人特別選抜	若干名	16	16	16	16	-	-	1.0
		外国人留学生特別選抜	若干名	2	2	2	2	-	-	1.0
		専攻 計	15	19	19	19	19	1.3	1.3	1.0
	専攻 計		15	19	19	19	19	1.3	1.3	1.0
	情報工学専攻(修士課程)	一般選抜	10	4	4	4	4	0.4	0.4	1.0
		推薦入試	若干名	2	2	2	2	-	-	1.0
		社会人特別選抜	若干名	1	1	1	1	-	-	1.0
		外国人留学生特別選抜	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		専攻 計	10	7	7	7	7	0.7	0.7	1.0
	専攻 計		10	7	7	7	7	0.7	0.7	1.0
	人間健康科学専攻(修士課程)	一般選抜	12	17	17	6	6	1.4	1.4	2.8
		推薦入試	若干名	3	3	3	3	-	-	1.0
		社会人特別選抜	若干名	4	4	4	4	-	-	1.0
		外国人留学生特別選抜	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		専攻 計	12	24	24	13	13	2.0	2.0	1.8
専攻 計		12	24	24	13	13	2.0	2.0	1.8	
研究科 計		37	50	50	39	39	1.4	1.4	1.3	
人 間 健 康 科 学 研 究 科	栄養科学専攻(博士後期課程)	一般選抜	3	1	1	1	1	0.3	0.3	1.0
		外国人留学生特別選抜	若干名	0	0	0	0	-	-	-
		後期課程 計	3	1	1	1	1	0.3	0.3	1.0
	研究科 計		3	1	1	1	1	0.3	0.3	1.0
大学院 計		40	51	51	40	40	1.3	1.3	1.3	

# 長崎県立大学国際社会学部

# 国際社会学科

# 一日大学生募集

開催日: 2019年10月6日(日曜日)

会場: 長崎県立大学シーボルト校(長与町)

対象: 高校1年生～3年生

定員: 各講座20名(先着順受付)

秋の日の午後、国際社会学科を大学生として体験しませんか。

## 第1講(13:00-14:00)

### <1A>スタジオでニュースをつくろう 金村公一 准教授

キャスター、ディレクター、タイムキーパー、スイッチャーなどいろいろな役割を体験しながら、大学メディアスタジオでクロマキー合成技術を使ってニュースをつくってみましょう。

### <1B>大国、中国へのアクセス 祁 建民 教授

一帯一路構想の推進など、中国は“超大国”への道を進んでますが、一方では、国内外から多くの問題も。今の中国から見えてくる、将来の日本、東アジアを解説します。

## 第2講(14:20-15:20)

### <2A>What is Iconography? 唐津理恵 准教授

We will learn about “iconography”, using examples from Tokyo 2020 Olympics Promotion Video and London 2012 Olympics Promotion Video.

### <2B>スマホの凄さと怖さ 鈴木暁彦 教授

スマホのSNSアプリを使えば、誰でも新聞社や放送局になれます。発信力が際立っていますが、危険も伴います。スマホの功罪について一緒に考えましょう。

## 申込／問合せ先



長崎県立大学シーボルト校 総務企画課

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1

TEL:095-813-5500 FAX:095-813-5220 E-mail: GMSeminar@sun.ac.jp

・本学ホームページまたは郵送・FAXにて希望の講座をお申し込みください。

・申し込み時に受講したい講座番号をお知らせください。

・複数講座への参加、ひとつのみの参加、どちらも可能です。

(本学ホームページへのQRコード↑)





# 一日大学生のための情報技術講座

2019 **9/7** 講座1 モーションキャプチャーで  
CG キャラクターアニメーションを作ろう！  
13:00~15:10

**9/21** 講座2 画像処理プログラミング  
10:00~12:10

講座3 色彩学&グラフィックデザイン入門  
~オリジナル・デジタルアート作品を創ろう!~  
13:00~15:10

**10/6** 講座4 プログラミングで音を作ってみよう  
10:00~12:10

講座5 3次元CGに挑戦!  
13:00~15:10

**10/14** 講座6 長崎の観光の活性化!  
10:00~12:10 Google Map を利用した地図アプリケーションの作成!  
月祝

**会場** 長崎県立大学シーボルト校  
情報演習室W203教室(西棟2F)

**対象** 高校1年~3年  
※教員や保護者の見学・参加も可能です。

**定員** 各講座 40名程度(先着順)

**申込** <http://sun.ac.jp/form/oneday-entry/>

- ・申込締切は各講座の前日17:00まで。
- ・電話やFAXでの申し込みは受け付けておりません。
- ・複数講座への参加、午前のみ・午後のみ参加も可能です。
- ・午前・午後のどちらも受講する場合は、昼食をご準備ください。



受講料  
無料

スマホ・携帯はこちらから ▲

長崎県立大学

主催 長崎県立大学 情報システム学部  
情報システム学科

問合せ先 情報システム学科 一日大学生担当  
E-mail: [SunSeminar@sun.ac.jp](mailto:SunSeminar@sun.ac.jp)

ポスターデザイン原案  
長崎県立大学情報システム学科  
市来、榎松、松本

## 学長裁量教育研究費

【佐世保校】

(単位：件、千円)

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
13	6,693	19	9,096	17	7,727	16	6,012	16	6,797

[令和元年度の取り組み]

研究種目	研究代表者		共同・個人の別	研究期間(年)	研究課題	交付額 (千円)
	学科	氏名				
離島	公共政策	松尾 晋一	共同	3	朝鮮通信使絵巻の基礎的分析と教育教材開発	735
東アジア	国際経営	江崎 康弘	個人	3	地方中小企業の東アジアへの事業展開の課題と対策に関する研究	783
長崎の地域課題	経営	宮地 晃輔	共同	1	長崎県内企業の会計技術を用いた経営品質の改善方策・若者定着に関する研究－働き方改革関連法の施行対応および他地域成功モデルをふまえて－	371
	国際経営	山本 裕	共同	3	長崎県のクルーズ戦略に関する研究 ～学際的なアプローチを使って～	372
	公共政策	石田 聖	共同	1	世界遺産推進施策にかかわる自治体行政施策の国際比較研究－長崎県とマカオを事例に	567
	国際経営	石田 和彦	個人	2	演習等で使用するデータ教育用教材の作成	124
	公共政策	山崎 祐一	個人	2	異文化理解を視野に入れた内容重視の英語教育 ～地域とリンクした取組を通して～	466
	公共政策	黒木 誉之	個人	3	市民自治・市民協働と地域ガバナンス－災害対応を中心として－	611
	実践経済	中村 和敏	個人	3	長崎県における看護・介護人材の需要構造と外国人労働力の利用可能性	674
	公共政策	寺床 幸雄	個人	3	長崎の農山村における地域活動の実践的支援に向けた研究方法の構築と展開	411
	実践経済	芳賀 普隆	個人	3	長崎県の再生可能エネルギー普及・活用に伴う地域活性化に関する研究	225
	実践経済	竹田 英司	個人	3	地域産業のツーリズム化	234
挑戦的研究	公共政策	橋本 優花里	共同	3	分野を超えた教員の連携による長崎県立大学版サービス・ラーニングプログラムの確立－共生をテーマにした取り組み	775
	公共政策	永井 洋士	個人	2	和解契約の拘束力に関する正当化根拠の解明	449
科研費獲得支援	経営	宮地 晃輔	個人	1	グローバル能力構築競争時代におけるわが国造船業の組織間管理会計の定式化に関する研究	－
	実践経済	竹田 英司	個人	3	産地縮小期における地域創生のメカニズム	－
総 計						6,797

## 【シーボルト校】

(単位：件、千円)

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
39	31,752	39	31,530	38	29,594	43	26,611	46	30,456

## [令和元年度の取り組み]

研究種目	研究代表者		共同・個人の別	研究期間(年)	研究課題	交付額 (千円)
	学科	氏名				
離島	国際社会	福島 涼史	個人	1	「離島」行政の法的支援—振興法活用と人材育成を中心に	294
長崎の 地域課題	国際社会	山田 健太郎	共同	3	地域と協働するインバウンド観光対応人材の育成について	330
	情報システム	平岡 透	共同	2	島原市におけるポーリングコアの画像解析と透水係数の推定	1,347
	情報システム	日下部 茂	共同	1	システムズエンジニアリングに基づく地域プロジェクトの効果的実施法の研究	580
	看護栄養	田中 一成	共同	1	長崎県産農産物の機能性解明と食品開発	1,884
	看護栄養	堂下 陽子	共同	3	精神障害をもちながら子育てをする利用者に対する訪問看護師の支援体制の構築	510
	看護栄養	石見 百江	共同	1	漁業従事者に対する栄養教育と健康支援に関する研究	718
	看護栄養	濱里 セツ子	共同	2	大学院での保健師基礎教育における技術教育方法の課題～大学院を修了した新人保健師の保健活動の現状から～	492
	看護栄養	稲垣 佳映	共同	2	長崎県民における共食の実態調査と支援事業への展開	517
	看護栄養	湯浅 正洋	共同	2	長崎県活性化を目指した南島原産新タマネギの栄養機能性と呈味特性の解明	966
	看護栄養	世羅 至子	共同	1	筋肉量低下が生活習慣病、健康寿命に及ぼす影響	1,330
	国際社会	森田 均	個人	3	運輸・情報通信・エネルギーの統合型インフラモデルSTINGIによる高度交通システムの社会実装と実証実験から地域社会へ貢献する研究を目指す試み	890
	国際社会	小原 篤次	個人	1	長崎における若者の早期離職と雇用のミスマッチの実態調査	129
	情報システム	辺見 一男	個人	1	音声コマンドによるコンテンツハンドリング手法に関する研究	296
	情報システム	小松 文子	個人	2	個人のセキュリティリスク認知に関する研究	775
	情報システム	吉村 元秀	個人	2	「ひと」、「まち」、「もの」の連動を俯瞰する技術者育成に向けた長崎百景プロジェクトの推進	361
	看護栄養	大塚 一徳	個人	1	地域の高齢者の認知症予防及び啓発のための信頼性・妥当性のある記憶の自己効力感尺度の開発	743
	看護栄養	駿河 和仁	個人	1	2型糖尿病モデルNSYマウスの疾患発症・進展に及ぼすビタミンA栄養状態の影響に関する研究	748
	看護栄養	山口 多恵	個人	3	高齢者長期ケア施設における看護師のコンピテンシーの構造の解明～坂の街・長崎の地理的特徴を踏まえた分析～	397
	看護栄養	木村 チヅル	個人	2	住民主体型活動を行う高齢者の意識と活動過程	160
	看護栄養	重富 勇	個人	2	精神障がい者ピアサポーターのレジリアンスを活かした地域包括ケアシステムの研究	297
看護栄養	竹内 昌平	個人	1	買い物環境および買い物行動が高齢者の健康状態に与える影響についての縦断的研究	955	

研究種目	研究代表者		共同・個人の別	研究期間(年)	研 究 課 題	交付額 (千円)
	学 科	氏 名				
長崎の地域課題	看護栄養	松澤 哲宏	個人	1	五島つばき麹菌の創出と安全性に関する研究	953
	看護栄養	高崎 亜沙奈	個人	3	クリティカルケア看護師が患者の死と向き合うプロセスの構造	285
	看護栄養	境田 靖子	個人	2	乳幼児健診を利用した母親の食生活と児の生育に関連する因子の検討	352
挑 戦 的	国際社会	田中 弘恵	共同	3	人工知能搭載英会話ロボットチャーパーピーを利用した日本人大学生の英語プレゼンテーションスキル向上のための実証的研究	189
	情報システム	永野 哲也	共同	1	新公開鍵暗号の強度の研究	205
	看護栄養	四童子 好廣	共同	1	イソプレノイド化合物によるパイロトーシス誘導メカニズムに関する研究	1,797
	看護栄養	古場 一哲	共同	1	2型糖尿病モデル動物における黒大豆乳酸発酵物の抗糖化作用	2,020
	看護栄養	吉田 恵理子	共同	2	青年期の吃音者が、親に求めるソーシャル・サポートに関する研究—社交不安障害との関連—	714
	看護栄養	飛奈 卓郎	共同	1	高体力の中・高齢者の血管年齢と日常の血糖値変動の関係	1,333
	看護栄養	本郷 涼子	共同	1	高効率にエネルギーを生産する腸内細菌叢と食習慣の関連	985
	看護栄養	三重野 愛子	共同	2	看護技術初学者における技術修得パターンの解明	422
	看護栄養	岡本 恭子	共同	1	非環式レチノイドによるヒト肝癌細胞におけるオートファジー制御メカニズムの解析	1,067
	情報システム	松崎 なつめ	個人	1	ブロックチェーン技術における鍵漏洩課題の分析	340
	情報システム	松田 健	個人	2	代数的手法による幾何情報抽出	628
	情報システム	吉田 雅一	個人	1	量子情報処理の発展に向けたマルチユーザー量子暗号の安全性の検討	187
	看護栄養	大曲 勝久	個人	1	我々が確立した非アルコール性脂肪肝炎ラットモデルの汎用化に向けての発展的検討	786
	看護栄養	山谷 麻由美	個人	2	CBPRを用いた地域づくりを行う住民の行動評価尺度開発	508
	看護栄養	永峯 卓哉	個人	2	弾性ストッキングによる皮膚乾燥発生機序の検証と皮膚トラブル予防ケアの開発	271
	看護栄養	倉橋 拓也	個人	1	水溶性圧縮酸素による殺菌・消毒・脱臭効果の研究	94
	看護栄養	坂本 仁美	個人	1	CBE (Competency-based education) 確立のための看護情報実践能力尺度の開発	353
	国際社会	井上 佳子	個人	1	ディアスポラの軌跡～ハンセン病家族訴訟～	181
	国際社会	賈 曦	個人	1	SDGsに向けて長崎メディアの発信～「平和」と「開発」をめぐる報道を中心に	513
	看護栄養	荒木 彩	個人	2	メタボリックシンドローム改善に向けた酢酸高含有食事メニュー開発のための基礎研究	1,554
科研費獲得支援部門	情報システム	穴田 啓晃	個人	1	結託攻撃に対し安全な汎用的結合可能暗号プロトコルの原理の解明と耐量子設計	0
総 計						30,456

## 研究論文数・学会発表数(第3期中期計画期間中)

	欧文学術誌発表論文		
	H29	H30	H31
経営学部	1	1	2
地域創造学部	5	3	3
国際社会学部	5	4	6
情報システム学部	15	26	22
看護栄養学部	15	24	21
年度計	41	58	54

	邦文学術誌発表論文		
	H29	H30	H31
経営学部	16	17	14
地域創造学部	11	7	16
国際社会学部	18	12	25
情報システム学部	15	12	10
看護栄養学部	11	15	18
年度計	71	63	83

	国際学会発表		
	H29	H30	H31
経営学部	5	4	4
地域創造学部	11	11	6
国際社会学部	9	8	11
情報システム学部	20	20	15
看護栄養学部	35	20	17
年度計	80	63	53

	全国学会発表		
	H29	H30	H31
経営学部	17	14	20
地域創造学部	23	21	17
国際社会学部	16	5	7
情報システム学部	42	54	36
看護栄養学部	89	92	98
年度計	187	186	178

	著書数		
	H29	H30	H31
経営学部	3	8	14
地域創造学部	9	5	13
国際社会学部	7	14	9
情報システム学部	2	0	4
看護栄養学部	7	0	13
年度計	28	27	53

# 公開講座

6/15<sup>±</sup>

**情報システム学科** 【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校



ソフトウェアからセーフウェアへ  
(安全安心な ICT 技術の利活用に向けて)

講師 日下部 茂 教授



地理空間情報の技術動向と防災への応用

講師 平岡 透 教授

6/29<sup>±</sup>

**看護学科** 【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校  
新上五島町



ハッピーエンディング  
～人生の終末期を考える～

講師 立石 憲彦 教授



見逃さないで！脳卒中のそのサイン  
～高齢者リハビリテーション看護の立場から～

講師 山口 多恵 准教授

7/20<sup>±</sup>

**国際社会学科** 【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校



映像メディアの可能性と危うさ

講師 井上 佳子 教授



国際協力と環境保全

講師 賈 曦 准教授

9/7<sup>±</sup>

**国際経営学科** 【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校



より便利に、より豊かに生きるための金融の知識

講師 石田 和彦 教授



実践経済学科

知っておきたい年金の話

講師 朝浦 幸男 教授

10/5<sup>±</sup>

**情報セキュリティ学科** 【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校



初等教育におけるプログラミング教育への期待

講師 山口 文彦 教授



情報化社会を支える広義の情報理論

講師 吉田 雅一 講師

10/26<sup>±</sup>

**公共政策学科** 【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校  
新上五島町



異文化間コミュニケーションのための英語教育  
～英語を使って何が出来るようになるのか～

講師 山崎 祐一 教授



公務員の仕事とは？

講師 立花 茂生 准教授

12/14<sup>±</sup>

**経営学科** 【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校



マーケティングと広告について

講師 大田 謙一郎 准教授



続・私たちの暮らしと改正民法

講師 板垣 太郎 講師

**参加無料 / 申込不要**

どなたでも参加できます

土曜日開催 13:30～15:40

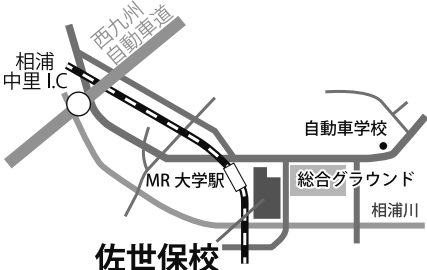
( 1講座60分 前半 13:30～14:30 )  
後半 14:40～15:40

※この公開講座は、ながさき県民大学の  
連携講座となっております。

**会場案内**

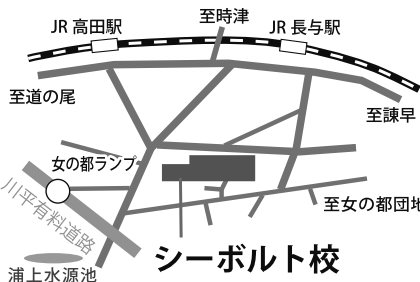
**佐世保校**

新館講義棟 1階504教室  
佐世保市川下町123



**シーボルト校**

中央棟 1階M103講義室  
西彼杵郡長与町まなび野1-1-1



**新上五島町**

鯨賓館活動支援室  
南松浦郡新上五島町有川郷578-36

遠隔会場には主会場からテレビ授業  
システムにより映像を配信します。



**駐車場あり 無料**

お問合せ



長崎県立大学  
UNIVERSITY OF NAGASAKI

佐世保校 <企画広報課> TEL 0956-47-5856

シーボルト校 <総務企画課> TEL 095-813-5735

## 情報システム学科

6/15<sup>±</sup>【主会場】  
シーボルト校【遠隔会場】  
佐世保校ソフトウェアからセーフウェアへ  
(安全安心な ICT 技術の利活用に向けて)

講師 日下部 茂 教授 時間 13:30～14:30

パソコンなどのいわゆるコンピュータだけでなく、普段使いの機器やエンターテインメントから社会的な基盤まで様々なものでソフトウェアの役割が増えています。利用範囲や利用者も多様化しており、効率や利便性といった観点だけでなく、安全安心なシステムづくりの重要性が高まっています。本講座では、ICT技術の進展と新しい安全の考え方Safety-IIやSafety2.0などについて概説します。

地理空間情報の技術動向と  
防災への応用

講師 平岡 透 教授 時間 14:40～15:40

地理空間情報について概説し、今後急速に変化する地理空間情報を取り巻く世界について最新技術に視点を置いて説明します。また、地理空間情報に関する特許戦略についても説明します。最後に、平岡がこれまでに行った地理空間情報を用いた防災に関する研究を紹介いたします。

## 看護学科

6/29<sup>±</sup>【主会場】  
シーボルト校【遠隔会場】  
佐世保校  
新上五島町ハッピーエンディング  
～人生の終末期を考える～

講師 立石 憲彦 教授 時間 13:30～14:30

終末期は誰に対しても必ずおとずれるものです。その誰しも迎える終末期を幸せに過ごすにはどうすれば良いのでしょうか？  
自分が望む終末期を過ごすためにはどのようにすれば良いのでしょうか？  
終末期の過ごし方を一緒に考えてみましょう。

見逃さないで！脳卒中のそのサイン  
～高齢者リハビリテーション看護の立場から～

講師 山口 多恵 准教授 時間 14:40～15:40

脳卒中が起こった時に現れる体のサインを紹介しながら、日常生活の中でできる予防法と発症時の対処法について解説します。脳卒中後の高齢者リハビリテーション看護に携わった経験を踏まえて地域の皆様にわかりやすい内容でお伝えします。

## 国際社会学科

7/20<sup>±</sup>【主会場】  
シーボルト校【遠隔会場】  
佐世保校

## 映像メディアの可能性と危うさ

講師 井上 佳子 教授 時間 13:30～14:30

テレビなどの映像メディアは、その影響力の大きさゆえに多くの危うさも内包しています。更に最近はSNSの投稿映像を放送に使うことも多くなり、視聴者も放送の「受け手」にとどまらず「送り手」の役割も担うようになりました。私たちは映像メディアとどう付き合えばいいのでしょうか。実際の番組の制作過程を通して考えます。



## 国際協力と環境保全

講師 賈 曦 准教授 時間 14:40～15:40

いま環境問題が世界的な関心事となっています。世界各国は環境問題を改善していくために、どんな取り組みをしているのか、また、ODAを中心とした環境協力の更なる充実を図るために、日本はどのように取り組みを行っているのか。普段知っていても考える機会がない「国際協力」と「環境問題」を「自分ごと」として一緒に考えてみましょう。

## 国際経営学科/実践経済学科

9/7<sup>±</sup>【主会場】  
佐世保校【遠隔会場】  
シーボルト校より便利に、より豊かに生きるための  
金融の知識

講師 石田 和彦 教授 時間 13:30～14:30

「お金」の世界が大きく変化しています。「お金」を使う面では、スマホ決済や仮想通貨など新しい支払い手段が次々登場し、政府もキャッシュレス化を推進しようとしています。一方、「お金」を蓄える面では、低金利でお金を増やす途が限られてくる中で、詐欺のような投資話で大切なお金を失うこともしばしば生じています。金融論の基礎的知識があれば、もっと便利に「お金」を使えるし、易々と騙されることもないはず、という観点から、金融のことをやさしく解説したいと思います。



## 知っておきたい年金の話

講師 朝浦 幸男 教授 時間 14:40～15:40

我が国では平均寿命が延び続け、いまや「人生100年時代」の到来が叫ばれています。このような中で、年金制度には、老後生活の安心の要として益々大きな役割が期待されています。一方で、年金制度は複雑なため、間違った情報も散見されます。本講座では、年金制度の入門編として、年金をできるだけ多く受給する方法などについて解説します。

## 情報セキュリティ学科

10/5<sup>±</sup>【主会場】  
シーボルト校【遠隔会場】  
佐世保校初等教育におけるプログラミング  
教育への期待

講師 山口 文彦 教授 時間 13:30～14:30

2020年から小学校においてプログラミング教育が全面実施されます。本講座では、情報科学・計算機科学を専門とする立場から、プログラミングを学ぶことの意義や目的を整理し、初等課程におけるプログラミング教育への期待を述べます。



## 情報化社会を支える広義の情報理論

講師 吉田 雅一 講師 時間 14:40～15:40

1. どの様にして情報を効率よく表現するかを問う情報理論、2. どの様にして情報に雑音耐性を持たせるかを問う符号理論、3. どの様にして盗聴から情報を守るかを問う暗号理論があります。これら3つの理論をあわせて広義の情報理論と呼び、その応用技術は現在の情報化社会の基礎を支えています。本講座では、それぞれの理論を簡単な例を用いて紹介します。

## 公共政策学科

10/26<sup>±</sup>【主会場】  
佐世保校【遠隔会場】  
シーボルト校  
新上五島町異文化間コミュニケーションのための英語教育  
～英語を使って何が出来るようになるのか～

講師 山崎 祐一 教授 時間 13:30～14:30

英語教育の大きな目的の1つに異文化間コミュニケーション能力の向上があります。異文化圏の人たちと円滑なコミュニケーションを実現するためには、「ことば」はもちろんのこと、その背景にある「文化」にも目を向けていく必要があります。学習の動機づけにおいても、英語教育に異文化理解の要素を取り入れることには大きな意味があり、学習の成果を上げるためには非常に有効と考えられます。アメリカの事例も紹介しながら、異文化理解と英語教育についてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。



## 公務員の仕事とは？

講師 立花 茂生 准教授 時間 14:40～15:40

講師は総務省という国の役所から出向しています。今まで総務省のほか、石川県庁、札幌市役所などで勤務してきましたが、今までの経験を踏まえ、国家公務員や地方公務員の役割、その目指すべき姿などについてお話ししたいと思います。

## 経営学科

12/14<sup>±</sup>【主会場】  
佐世保校【遠隔会場】  
シーボルト校

## マーケティングと広告について

講師 大田 謙一郎 准教授 時間 13:30～14:30

ICTの普及によって、生活者にとってインターネットやSNSなどがより身近なものになりました。他方で、広告に関する従来の枠組みだけで上記の現状を捉えようとすると非常に困難です。

本講座では、まずはマーケティングの基礎理論を再確認しながら、今日の広告活動をどのように捉えなおせばよいのか、その視点について講義します。



## 続・私たちのくらしと改正民法

講師 板垣 太郎 講師 時間 14:40～15:40

前年度に行った、改正民法に関する公開講座に対するアンケートにおいて、複数回の講座を希望する回答が多数寄せられたため、本年度はその続編として、2020年4月1日に施行される改正民法が私たちのくらしに及ぼす影響について改めてお話しします。

# 学術講演会

参加無料 / 申込不要  
どなたでも参加できます

開演時間 13:30~15:00

6/22  
SAT



## 「中国・広東省・深圳レポート」

世界の工場からイノベーション都市への転換図る。深圳企業のファウエイが米中貿易摩擦のターゲットになる理由は？

講師 / 永井知美氏 株式会社 東レ 経営研究所  
チーフアナリスト

主会場 佐世保校 遠隔会場 シーボルト校

9/28  
SAT



## 機能性表示農林水産物開発のすすめ

講師 / 山本(前田)万里氏 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
本部 企画戦略本部 研究管理役  
(筑波大学グローバル教育院教授(協働大学院))

主会場 シーボルト校 遠隔会場 佐世保校、新上五島町

11/30  
SAT



## 「21世紀の世界はどうか —アダム・スミスから考える—」

講師 / 田中秀夫氏 愛知学院大学客員教授  
京都大学名誉教授

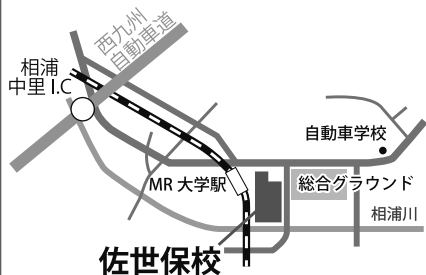
主会場 佐世保校 遠隔会場 シーボルト校

### 会場内

駐車場あり

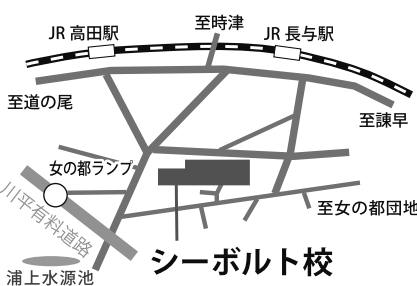
### 佐世保校

新館講義棟2階505教室 / 1階504教室  
佐世保市川下町123



### シーボルト校

中央棟1階M103講義室  
西彼杵郡長与町まなび野1-1-1



### 新上五島町

鯨賓館活動支援室  
南松浦郡新上五島町有川郷578-36

遠隔会場には主会場からテレビ授業システムにより映像を配信します。



お問合せ



佐世保校 <企画広報課> TEL 0956-47-5856  
シーボルト校 <総務企画課> TEL 095-813-5735



6/22

土曜日

開演時間 13:30~15:00

【主会場】  
佐世保校【遠隔会場】  
シーボルト校

## 「中国・広東省・深圳レポート」

世界の工場からイノベーション都市への転換  
図る。深圳企業のファーウェイが米中貿易摩  
擦のターゲットになる理由は？

深圳は中国最初の経済特区の一つで「世界の工場」の象徴であった。人件費高騰に伴い  
量産地としての魅力は低下した。然し、時代の変化に応じイノベーション都市化を進め、  
新サービスや新製品を生み出し、小さな漁村から40年で中国四大都市となった。なぜ人件  
費高騰を克服して、高成長を遂げ次々にイノベーションを生み出したのか、深圳企業の  
ファーウェイとZTEが米中貿易摩擦のターゲットなのかに注目し日本企業が読み取れるも  
の何かを考えたい。

講師／永井 知美氏

株式会社 東レ経営研究所  
チーフアナリスト

【略歴】

東京大学文学部ロシア語・ロシア文学科卒業。山一証券経済研究所外国企  
業調査部アナリストを経て東レ経営研究所入社。現在同社産業調査担当  
のチーフアナリスト。

毎日新聞出版「週刊エコノミスト」の「海外企業を買う」コーナーに連載、  
他テレビ、新聞でのコメント多数。

〈公職〉金融庁企業会計審議会委員(2005年~2015年) 内閣府統計委員  
会専門委員(2014年~2015年)

9/28

土曜日

開演時間 13:30~15:00

【主会場】  
シーボルト校【遠隔会場】  
佐世保校  
新上五島町

## 機能性表示農林水産物開発のすすめ

日本の機能性食品の表示制度は、世界に先駆けて施行された特定保健用食品制度、ビタミン、  
ミネラル、n-3系脂肪酸を規格基準型表示する栄養機能食品制度、生鮮食品も認められた  
届出型機能性表示食品制度がある。本講演では、生鮮食品を含む農林水産物に関わる機能性  
表示食品制度の概要や改正ガイドライン、機能性農林水産物開発の現状や開発上の課題な  
どを紹介する。

講師／山本(前田)万里氏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
本部 企画戦略本部 研究管理役  
(筑波大学グローバル教育院教授(協働大学院))

【略歴】

1986年千葉大学大学院修士課程修了。農学博士。1986年農林水産省  
入省後、中国農業試験場、野菜茶業試験場、食品総合研究所、農業・食  
品産業技術総合研究機構食農ビジネス推進センター長を経て現職。筑波  
大グローバル教育院教授。2013年内閣府産学官連携功労者表彰農林水  
産大臣賞、2016年日本農芸化学会技術賞、2018年日本農学賞受賞。  
専門分野は食品機能学、食品化学。抗アレルギー作用をもつ「べにふうき」  
緑茶の開発に従事。

11/30

土曜日

開演時間 13:30~15:00

【主会場】  
佐世保校【遠隔会場】  
シーボルト校

## 「21世紀の世界はどうなるかーアダム・スミスから考える」

今回の講演では、アダム・スミスの思想を参考にしながら、21世紀の世界がどうなるか  
を考えてみる。スミスは意図せざる結果という把握を社会現象・歴史に見て取った。それ  
は人間の全能性の否定を意味したが、20世紀にジェノサイドを経験した人類は、意図せざ  
る結果に翻弄されるわけにはいかない。21世紀の地球社会が直面する問題を解決し、繁栄  
するには、我々はどう行動すべきかを考えることにしたい。

講師／田中 秀夫氏

愛知学院大学客員教授  
京都大学名誉教授

【略歴】

滋賀大学から京都大学大学院(1973年)、学振研究員を経て1981年に  
甲南大学。1990年、京都大学。『スコットランド啓蒙思想史研究』  
(1991年)で博士。1993年に教授。1996年に英国で在外研究。2010  
年、学部長・研究科長を経て2013年から現職。

経済学史学会(2015年、代表幹事)、社会思想史学会、日本イギリス哲学  
会(2004年、会長)などで活動。著書は『アメリカ啓蒙の群像』(2012  
年)その他。

<b>教員の年齢・性別構成</b>
-------------------

令和元年5月1日現在

		教授	准教授	講師	助教	特任教員	合計
29歳以下	男性	0	1	0	0	0	1
	女性	0	0	1	0	0	1
30～39歳	男性	0	3	7	1	1	12
	女性	0	0	2	2	0	4
40～49歳	男性	7	11	6	1	3	28
	女性	1	7	8	2	1	19
50～59歳	男性	23	9	1	0	1	34
	女性	6	3	2	1	1	13
60～69歳	男性	24	3	0	0	4	31
	女性	5	0	0	0	1	6
70～79歳	男性	0	0	0	0	1	1
	女性	0	0	0	0	0	0
男性計		54	27	14	2	10	107
女性計		12	10	13	5	3	43
合計		66	37	27	7	13	150

## ○用語概説

	用語	解説
ア行	IR	Institutional Research（インスティトゥーショナル・リサーチ）の頭文字。 教育研究・経営・財務情報など、大学の諸活動に関する情報を収集・分析することで、学内の意思決定や改善活動の支援、外部に対する説明責任を果たす活動。
	アクティブラーニング	教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。
	アセスメント・ポリシー	学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針。
	アドミッション・ポリシー	入学者受入方針。 各大学・学部等が、その教育理念や特色等を踏まえ、どのような教育活動を行い、また、どのような能力や適性等を有する学生を求めているのかなどの考え方をまとめたもの。 入学者の選抜方法や入試問題の出題内容等にはこの方針が反映されている。
	インターンシップ	学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来希望する職業に関連した就業体験を行うこと。
	e-learning	電子ネットワークなどを利用した教育、研修。 WBT(Web Based Training)やdistance learningとも呼ばれる。
	AO入試	AO入試：アドミッション・オフィス入試。 アドミッションポリシー（大学が求める学生像）に基づき、学力では量れない受験生の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識などを多面的、総合的に評価し判定する入試。
	SD	Staff Development（スタッフ・ディベロプメント）の頭文字。 事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組。
	FD	Faculty Development(ファカルティー・ディベロプメント)の頭文字。 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。 具体例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法に関する研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。
	FP（ファイナンス・プランニング）技能検定	顧客の資産に応じた貯蓄・投資等のプランの立案・相談（ファイナンス・プランニング）に必要な技能に関する試験。レベルは1～3級までであり、2級はビジネスでは必須と言われるレベルで、金融業界を中心に企業ニーズも高く、昇格要件とされるケースもある。
enPiT-pro	文部科学省が実施する「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）」において、情報科学技術分野を中心とする体系的かつ高度で短期の実践教育プログラムを、産業界・複数大学の協働により開発・実施し、社会人学び直し機能の強化への貢献を目指す大学院改革の取り組み。本学においては、情報セキュリティ大学院大学、東北大学などと共同し、社会人向けの教育プログラムを提供している。	
enPiT-Basic	文部科学省が実施する「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）」の「セキュリティ分野(enPiT-Security)」に参加している。主に学部3年生を対象とする、演習科目を重視したコースとして、幅広いセキュリティ分野の最新技術や知識を体験を通じて習得することができる。 情報セキュリティに関する専門教育を実施している全国の連携校がenPiT 提供科目としている専門科目を、遠隔講義によって受講することができる。	

	用語	解説
力行	科学研究費補助金	人文・社会科学から自然科学まで、あらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする国庫の研究助成費。文部科学省、厚生労働省、日本学術振興会により審査・交付される。
	カリキュラム・ポリシー	教育課程編成・実施方針。ディプロマ・ポリシーで定めた学修内容を習得するためのカリキュラムを体系的に示したもの。
	カリキュラムマップ	履修系統図。学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との間の対応関係を示し、体系的な履修を促す体系図。
	クォーター制	1学年複数学学期制の授業形態。1年間の課程を4つの学期に分けて行う。少数の科目を集中的に履修することで、学習効果を高めることができる。また、海外大学の入学時期との調整が容易となり、留学生の派遣・受入が行いやすくなる。
	クロスアポイントメント制度	大学法人、研究開発法人、民間企業等が機関間でクロスアポイントメントに係る協定書等を締結することにより、職員がそれぞれの機関で「常勤職員」としての身分を有し、それぞれの機関の責任の下、必要な従事比率（エフォート）で業務を行うもの。
サ行	先取り履修制度	本学大学院への進学を目指す学部生が、大学院授業科目を学部生のうちに履修し、本学大学院に進学後、当該専攻が定めた上限単位数（最大で10単位）の範囲内において、大学院の修了に必要な単位として認定する制度。
	COC+	文部科学省が実施する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」。大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする。本学においては、長崎大学を中心に、『若者が輝く、若者で輝く長崎創生～地方創生人材学士プログラム～』として実施している。
	シーズ	大学がもつ「技術、ノウハウ、アイデア、人材、設備」などを指す。
	「しまなび」プログラム	島嶼県である長崎県の特性を活かし、また長崎県の公立大学として「しま」を第3のキャンパスとして位置づけ、学生を在学期間中（4年間）に最低一度は「しま」を訪問させ、現地の生活や人との交わりの中で、実践的な学習を体験させる本学独自のプログラム。
	就業力	学生が卒業後自らの素質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力。
	情報処理技術者試験	情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験。試験区分はレベル1（ITパスポート）、レベル2（基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験）、レベル3（応用情報技術者試験）、レベル4として、情報処理安全確保支援士試験など14分野の試験がある。
	シラバス	各授業科目の詳細な授業計画。一般に、授業名、担当教員名、講義目的、各回毎の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記されており、学生が各授業科目の準備学習等をすすめるための基本となるもの。

	用語	解説
サ行	税理士試験	税理士となるのに必要な学識及びその应用能力を有するかどうかを判定することを目的として行われる国家試験。会計学に属する科目（簿記論及び財務諸表論）の2科目と税法に属する科目（所得税法、法人税法、相続税法、消費税法又は酒税法、国税徴収法、住民税又は事業税、固定資産税）のうち受験者の選択する3科目について行われ、1科目ずつの受験が可能。合格基準は、各科目とも満点の60パーセントとなっている。
	全経簿記能力検定	全国経理教育協会が実施する、簿記能力・経理能力に関する検定。上級の合格者には、税理士試験受験資格が与えられる。
	ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）	人と人とのつながりを促進・サポートする、「コミュニティ型の会員制のサービス」。Facebook、LINE、Twitterなど、多数のサービスがある。
タ行	中国語検定	日本中国語検定協会が実施する中国語能力の検定試験で、1級から準4級までの6段階で試験が行われている。 2級の認定基準は、複文を含むやや高度の中国語の文章を読み、3級程度の文章を書くことができ、日常的な話題での中国語による会話が行えること。 3級の認定基準は、中国語の一般的事項をマスターして、簡単な日常会話ができ、基本的な文章を読み、書くことができること。
	チューター制	在学生、教員等が学生に対して、学習、生活上の精神的サポートとして、支援、助言を個別に行う制度。主に外国人留学生に対して個別の課外授業を行うなど、留学生の学習、研究効果の向上を図る制度。
	長期履修学生制度	職業を有しているなどの個人の事情に応じて、大学の定めるところにより、学生が大学の修業年限を超えた一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修し卒業することを認められる制度。平成14年度から実施。
	ディプロマ・ポリシー	学位授与方針。 卒業時に学生が獲得すべき能力や態度、知識などを示したもの。
	TOEIC	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、10～990点までのスコアで評価をするもの。一般に、730点以上で、どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えているとされる。
ナ行	長崎県立大学やるばいプロジェクト	本学や地域の活性化につながる学生の自主的な活動を促すことを目的に平成19年度に創設した学生支援制度。採択プロジェクトに対しては奨励金を助成している。
	ナンバリング	授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み。
	日経TEST	日本経済新聞社と日本経済研究センターが主催・運営する四肢択一のマークシート式・全100問の試験。経済知力を構成する「知識」と「考える力（知力）」の2つを総合した「ビジネスの基礎力」を客観的に測り、診断するテスト。最高得点1000点のスコアで評価するもの。

	用語	解説
ナ行	日商簿記検定	日本商工会議所が実施する簿記に関する技能検定。初級から1級の4段階で試験が実施される。2級は経営管理に役立つ知識として、最も企業に求められる資格の一つと言われている。1級は公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門と言われ、合格すると税理士試験の受験資格が得られる。
	ニュース時事能力検定	新聞やテレビのニュース報道を読み解き、活用する力（時事力）を養い、認定する検定。五つの分野（政治、経済、暮らし、社会・環境、国際）からバランスよく出題され、総合的な時事力を測る。1級から5級（準2級含む）の6段階で試験が実施される。
ハ行	ハラスメント	様々な場面での嫌がらせ・いじめのこと。他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えること。
	販売士検定	販売員としての素養やサービス向上を目的に日本商工会議所が実施する検定試験。レベルは1～3級まであり、2級は売場の管理者クラスのレベルで、店舗管理に不可欠な従業員の育成や指導、仕入や在庫の管理といった知識が必要。
	ピアレビュー（学生）	学生同士が相互に評価を行うこと。「しまなび」においては、グループワークにおける貢献度等について点数化して相互評価を行い、成績評価に反映させた。
ラ行	リサーチアシスタント	大学教員の研究補助者として雇用されるもので、雇用された大学院学生の給与と授業料などの経費が支給される。学生の研究補助事業に対する対価として支払われるもの。
	ループリック	学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの。学習結果のパフォーマンスレベルの目安を数段階に分けて記述して、学習の達成度を判断する基準を示す教育評価法。